

**ATTACHMENT MCI-3211**  
**取り扱い説明書**  
(VER H00 S0100-10)

2008年11月11日

**武蔵株式会社**

## — 目次 —

1. 適用	P. 2
2. 概要	P. 2
3. フロントパネル	P. 3
4. MENU 操作パネル	P. 2 1
5. リアパネル	P. 2 3
6. コネクターヒューズサイン	
6-1. REMOTE コネクター (スタジオ仕様)	P. 2 8
6-2. REMOTE コネクター (運行装置仕様)	P. 3 0
6-3. to GFS PARALLEL コネクター	P. 3 2
6-4. to GFS REMOTE コネクター	P. 3 3
6-5. EDIT-1 コネクター	P. 3 3
6-6. EDIT-2 コネクター	P. 3 3
6-7. CUE OUT コネクター	P. 3 4
6-8. ST-TALLY IN コネクター	P. 3 4
6-9. TALLY IN コネクター	P. 3 4
6-10. TALLY OUT コネクター	P. 3 5
6-11. PARALLEL OUT コネクター	P. 3 6
7. MENU	
7-1. MENU 設定について	
①バージョン情報及び各 GFS 及び ATMT 設定	P. 3 7
②CONFIG BANK 設定	P. 3 8
③ERROR LOG 設定	P. 3 9
④COMMAND LOG 設定	P. 4 4
⑤PQ-REC 設定	P. 4 8
⑥PQ-PB 設定	P. 4 8
⑦BEEP 設定	P. 4 9
⑧ON AIR 設定	P. 5 0
⑨REMOTE 設定	P. 5 1
⑩ST-REM 設定	P. 5 1
⑪その他の設定	P. 5 2
⑫SYSTEM 設定	P. 5 2
7-2. MENU の初期化について	P. 5 4
7-3. ERROR 表示について	P. 5 4
8. その他の機能	P. 5 5
9. PQフォーマット	
9-1. PQ 記録フォーマット	P. 5 6
10. PQ REC シーケンス	P. 5 6
11. PQ PB シーケンス	P. 5 7
12. 完パロ収録スタンバイシーケンス	
12-1. 完パロ収録スタンバイ	P. 5 8
12-2. 完パロ収録スタンバイ完了後の REC による自動 PQ REC	P. 5 9
13. 一般仕様	P. 6 0
14. 外観図	P. 6 1
15. 接続例	P. 6 2

## 1. 適用

本装置は日本放送協会殿 小規模収録再生装置GFSにおけるアタッチメント部(MCI-3211)について規定します。

尚、本取扱説明書に掲載されている動作内容は、各スイッチ及びメニュー設定等により異なる場合があります。

対象機種：TOSHIBA FLASH MEMORY RECORDER (GF STATION GFS-V10)

## 2. 概要

MCI-3211 の主な機能は下記の通りです。

### <LOCAL CONTROL 機能>

- ・ PQ-BP/PQ 頭出し機能を装備しています。
- ・ PQ 記録/消去機能を装備しています。
- ・ その他、NEXT クリップ / PREVIOUS クリップ / クリップ TOP / クリップエンド完プロダクト表示 / 完プロダクト収録スタンバイ / 等各種の動作が実行出来ます。

### <REMOTE CONTROL 機能>

- ・ 放送制御コンピューター等からのパラレル制御が可能です。

### <EDIT CONTROL 機能>

- ・ 編集用インターフェースで直接編集機からの指示で GFS の制御が可能です。

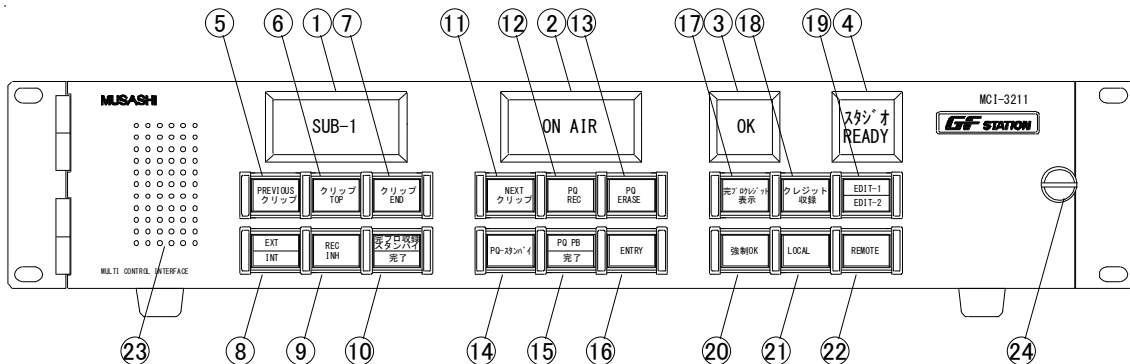
### <OA TALLY 機能>

- ・ OA TALLY 入力として TALLY IN コネクタを装備しています。
- ・ 外部 TALLY PANEL 用に TALLY OUT コネクタを装備しています。
- ・ フロントパネルに OA TALLY 用表示灯を装備しています。

### <その他の機能>

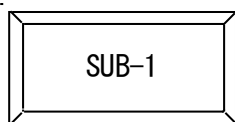
- ・ リファレンスは 3 値 SYNC 1125 / 59.94Hz、525 i / 59.94 B.B に対応しています。

### 3. フロントパネル



MCI-3211 の機能を使用する時は GF STATION 本体の LOCAL/REMOTE スイッチを REMOTE 側に設定して下さい。

#### 3-1. 号機表示灯 (上記外観図 ①)



スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : アンバー色

- (a) MCI-3211 の電源投入時、表示灯はアンバー色で点灯します。
- (b) リアレンス信号がない時及び、GFS がローカル状態の時は点滅します。
- (c) GFS の障害 (HARD ERROR)、アタッチメントの障害が発生した場合、表示灯はアンバー色で点滅し警告音を出します。  
ENTRY スイッチを押すことにより警告音を消すことができます。  
アラーム表示 (点滅) は、HARD ERROR が無くなるまで解除されません。

#### 3-2. ON AIR 表示灯 (上記外観図 ②)

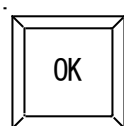


スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : 赤色・緑色混合にてアンバー色

- (a) MCI-3211 の電源投入時、表示灯は消灯しています。
- (b) TALLY IN コネクタ又は ST-TALLY IN コネクタ又は REMOTE コネクタに OA TALLY を受けている間、表示灯は赤色に点灯します。
- (c) OA TALLY 強制 PLAY 実行時、GFS が LOCAL あるいは GFPAK 未挿入時には、アンバー色に点滅します。(ENTRY スイッチを押すと点滅は停止します。)
- (d) OA 列-が OFF に変化し一定時間 (MENU78 で設定した時間) OFF が継続及び終了制御を受信したら表示灯は緑色に点滅します。  
LOCAL に選択すると消灯します。

### 3-3. OK 表示灯（上記外観図 ③）



スクリーン色 : 緑色

LED 色 : 緑色

- (a) OK 表示灯は PQ-PB 完了（PQ-STOP 状態）で、アタッチメントが「REMOTE」状態（上位運行装置 REMOTE との通信が可能な状態）かつアタッチメントと GFS が通信可能な状態のとき点灯します。
- (b) OK 表示灯が点灯後、アタッチメントの「REMOTE」状態を外した場合、ブザーが鳴り OK ランプが点滅になります。  
（ENTRY スイッチを押すとブザーは停止します。）
- (c) 上記でアタッチメントが「REMOTE」状態に復帰した場合、点灯状態に戻ります。（ブザー音も止まる）  
※EDIT-1 及び、EDIT-2 からの復帰時は OK ランプが消灯します。
- (d) OK ランプの解除条件は、PQ-PB 完了状態で無くなったときに消灯します。

### 3-4. スタジオ READY 表示灯（上記外観図 ④）



スクリーン色 : 緑色

LED 色 : 緑色

- (a) スタジオ READY 表示灯は PQ-PB 完了（PQ-STOP 状態）で、アタッチメントが「REMOTE」状態（上位スタジオ REMOTE との通信が可能な状態）かつアタッチメントと GFS が通信可能な状態のとき点灯します。
- (b) スタジオ READY 表示灯が点灯後、アタッチメントの「REMOTE」状態を外した場合、ブザーが鳴りスタジオ READY ランプが点滅になります。（ENTRY スイッチを押すとブザーは停止します。）
- (c) 上記でアタッチメントが「REMOTE」状態に復帰した場合、点灯状態に戻ります。（ブザー音も止まる）  
※EDIT-1 及び、EDIT-2 からの復帰時はスタジオ READY ランプが消灯します。
- (d) スタジオ READY ランプの解除条件は、PQ-PB 完了状態で無くなったときに消灯します。

### 3-5. PREVIOUS クリップ スイッチ（上記外観図 ⑤）



接点動作 : モーメンタリ- (ガードカバー付き)

スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : アンバー色

- (a) LOCAL 時に押下することにより、前クリップの PQ 点へ移動します。
- (b) PQ 点が無い場合は、前クリップのファイル冒頭に移動します。
- (c) 前クリップが無い場合は ATMT で音のみ。複数クリップでループはしません。
- (d) PREVIOUS クリップ サーチ中は点灯します。
- (e) PQ 点で停止すると、PQ-PB 完了ランプが点灯します。

### 3-6. クリップ TOP スイッチ（上記外観図 ⑥）



接点動作 : モーメンタリ-

スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : アンバー色

- (a) LOCAL 時に押下することにより、現在のクリップの最初のフレームを表示します。
- (b) クリップ TOP サーチ中は点灯します。

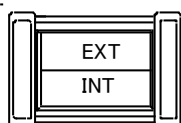
### 3-7. クリップ END スイッチ（上記外観図 ⑦）



接点動作 : モーメンタリー  
スクリーン色 : 乳白色  
LED 色 : アンバー色

- (a) LOCAL 時に押下することにより、現在のクリップの最終フレームを表示します。
- (b) クリップ END サーチ中は点灯します。

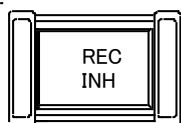
### 3-8. EXT/INT スイッチ（上記外観図 ⑧）



接点動作 : モーメンタリー  
スクリーン色 : 乳白/乳白色  
LED 色 : アンバー/緑色

- (a) LOCAL 又は REMOTE の時、押すごとに GFS 記録時の TC を EXT/INT と切替えます。
- (b) GFS 記録時の TC が EXT の場合、EXT がアンバー色点灯します。
- (c) GFS 記録時の TC が INT の場合、INT が緑色点灯します。
- (d) GFS 側で記録時の TC を設定しても表示が切り替わります。

3-9. REC INH スイッチ (上記外観図 ⑨ )

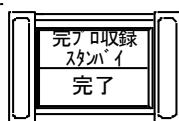


接点動作 : モーメンタリ-  
スクリーン色 : 赤色  
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、GFS の REC INH を FREE と ALL に切り替えます。
- (b) GFS の REC INH が ALL の時に点灯します。
- (c) GFS の REC INH が FREE の時に消灯します
- (d) 装填された GFPAK が REC-INH(ALL)設定の場合は点灯します。
- (e) GFS にて REC INH を変更しても点灯／消灯します。



3-10. 完プロ収録スタンバイ/完了スイッチ（上記外観図 ⑩）



接点動作 : モンタリ- (ガードカバー付き)

スクリーン色 : 乳白/乳白色

LED色 : アンバー/緑色

- (a) LOCAL 時、GFS が STOP の時、ENTRY スイッチを押しながら完プロ収録スタンバイ スイッチを押すと GFS は GFP AK 内のファイルを ALL 削除してから BIN999 にクレジット用 CLIP001 を作成します※
- (b) この一連の動作中、完プロ収録スタンバイ スイッチがアンバー色点灯します。
- (c) 完プロ収録スタンバイ 動作中は他の動作を受付けません。
- (d) ファイルの準備が整い、完プロ収録スタンバイ 状態で完了ランプ が緑色点灯します。
- (e) 完了ランプ は GFS が STOP/STILL 以外になった時に消灯します。
- (f) 上位 REMOTE から REC-C を受けたら GFS が REC 動作になり、自動的に 2 秒間クレジットを収録します。
- (g) GFS はクレジットを収録後一時停止し、BIN001 を作成します。
- (h) 10 秒後から BIN001 の CLIP001 にて REC を再び開始します。
- (i) 完プロ収録スタンバイ 完了表示灯が点灯状態で REC 制御が行われた場合、GFS の設定により指定した秒数に自動で PQ-REC (PQ 点記録) が実施され、PQ-REC 完了後も REC 動作を継続します。  
(デフォルトは 12 秒後に PQ-REC します。)
- (j) 自動で PQ-REC をするかしないかは GFS の設定により可能です。

**※完プロ収録スタンバイ スイッチは既に GFP AK 内にファイルが存在する場合は押しても「ピッ」とエラー音が鳴り動作しません。その時は長押し (3 秒以上) で動作します。**

**※完プロ収録スタンバイ 動作に入ると GFP AK 内のファイルを自動的に ALL 削除します。**

**※完プロ収録は MENU 「80:KST MODE SEL」 設定により GFP AK 直書きモード と追っかけ再生収録モード が選択できます。**

**※完プロ収録スタンバイ 完了ではない状態での通常の REC では GFP AK 直書きモード に固定となります。**

### 3-11. NEXT クリップ スイッチ（上記外観図 ⑪）



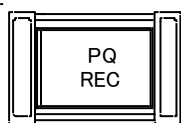
接点動作 : モーメンタリ- (ガードカバー付き)

スクリーン色 : 乳白色

LED 色 : アンバー色

- (a) LOCAL 時に押下することにより、次クリップの PQ 点へ移動します。
- (b) PQ 点が無い場合は、次クリップのファイル冒頭に移動します。
- (c) 次クリップが無い場合は ATMT で音のみ。複数クリップでループはしません。
- (d) NEXT クリップサーチ中は点灯します。
- (e) PQ 点で停止すると、PQ-PB 完了ランプが点灯します。

### 3-12. PQ-REC スイッチ（上記外観図 ⑫）



接点動作 : モーメント  
スクリーン色 : 赤色  
LED 色 : 赤色

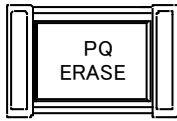
- (a) LOCAL 選択中、GFS が STOP 状態の時、ENTRY スイッチを押しながら、PQ-REC スイッチを押すと、GFS は PQ-REC シークスを実行し、PQ 点を記録します。※
- (b) この一連の動作中、PQ-REC スイッチが点灯します。  
（途中で記録不可になると「ピピピッ」とエラー終了音が鳴ります）
- (c) MENU「36:PQ-REC PLAYBACK」設定により、記録後自動で PQ-PB を行い、PQ 点が記録されていることを確認することが出来ます。
- (d) PLAYBACK 動作中は PQ-PB ランプが点灯します。

※PQ がクリップに存在する場合は、PQ-REC 出来ません。その場合は、PQ-ERASE 後 PQ-REC して下さい。

※PQ-REC シークス中に ON AIR 列-起動にて PLAY コマンドが発行されても PQ-REC シークスはそのまま継続されます。

※PQ-REC が異常終了した場合、PQ-REC ランプが 5 回点滅します。

3-13. PQ-ERASE スイッチ（上記外観図 ⑬）



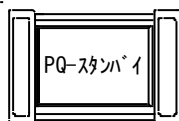
接点動作 : モーメンタリー  
スクリーン色 : 白色  
LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL 時、PQ-PB 完了ランプ点灯中、ENTRY スイッチを押しながら PQ-ERASE スイッチを押すと GFS は PQ-ERASE シーケンスを実行し、PQ 点を消去します。
- (b) この一連の動作中、PQ-ERASE スイッチが点灯します。  
(途中で消去不可になると「ピピピッ」とエラー終了音が鳴ります)
- (c) MENU「36:PQ-REC PLAYBACK」設定により、消去後、自動で PQ-PB を行ない、PQ 点が消去されていることを確認することが出来ます。
- (d) PLAYBACK 動作中は PQ-PB ランプが点灯します。

※PQ-ERASE シーケンス中に ON AIR 切り起動にて PLAY コマンドが発行されても PQ-ERASE シーケンスはそのまま継続されます。

※PQ-ERASE が異常終了した場合、PQ-ERASE ランプが 5 回点滅します。

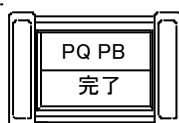
3-14. PQ-スタンバイスイッチ（上記外観図 ⑭）



接点動作 : モーメンタリー  
スクリーン色 : 乳白色  
LED色 : アンバー色

- (a) LOCAL 時、ENTRY スイッチを押しながら PQ スタンバイ スイッチを押すと、GFS は現在のクリップ内の PQ 点に瞬時にスタンバイします。
- (b) この一連の動作中、PQ-スタンバイ ランプがアンバー色点灯します。
- (c) PQ 点で停止したとき PQ-PB 完了ランプが緑色点灯します。
- (d) GFS が STOP/STILL 以外になった時に完了ランプが消灯します。

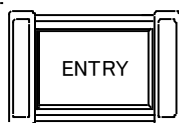
3-15. PQ-PB/完了スイッチ（上記外観図 ⑮）



接点動作 : モーメンタリー  
スクリーン色 : 乳白/乳白色  
LED色 : アンバー/緑色

- (a) LOCAL 時、ENTRY スイッチを押しながら PQ-PB スイッチを押すと、GFS は PLAY 状態になり、次の PQ 点にて GFS は停止します。
- (b) この一連の動作中、PQ-PB ランプがアンバー色点灯します。
- (c) PQ 点にて停止したとき完了ランプが緑色点灯します。
- (d) PQ-PB 完了時に GFS の CTL 値を MENU 「44:PQ-PB END CTLSET」及び MENU 「45:PQ-PB CTL PRESET」により設定可能です。
- (e) GFS が STOP/STILL 以外になった時に完了ランプが消灯します。
- (f) PQ-PB 中、もう一度 ENTRY スイッチを押しながら PQ-PB スイッチを押すと、PQ-PB 動作を中断します。

### 3-16. ENTRYスイッチ（上記外観図 ⑩）



接点動作 : モーメンタリ-  
スクリーン色 : 乳白色  
LED色 : 赤色

- (a) LOCAL時、各動作（PQ REC、PQ ERASE、PQ PB、PQ-スタンバイ、完プロ収録スタンバイ、完プロのクレジット表示、クレジット収録、強制OK）を実行する時に同時押しします。
- (b) ENTRYランプの点滅及びブザー-出力を停止します。
- (c) 押ししている間点灯します。
- (d) OA 入力中、REMOTE から「LOCAL」または「EDIT-1」または「EDIT-2」スイッチを押下することにより点滅します。

### 3-17. 完プロクレジット表示スイッチ（上記外観図 ⑪）



接点動作 : モーメンタリ-（ガードカバー付き）  
スクリーン色 : 乳白色  
LED色 : アンバー色

- (a) LOCALスイッチ選択状態でGFSが停止している時にENTRYスイッチを押しながら完プロクレジット表示スイッチを押し続けている間、GFSは完プロクレジットの静止画ファイルを呼び出し表示します。
- (b) その間、完プロクレジット表示ランプはアンバー色に点灯します。
- (c) スwitchを離すと元の状態に戻り完プロクレジット表示ランプは消灯します。

3-18. クリップ収録スイッチ（上記外觀図 ⑩ ）



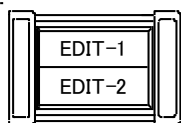
接点動作 : モーメンタリ- (ガードカバー付き)

スクリーン色 : 赤色

LED 色 : 赤色

- (a) LOCAL スイッチ選択状態で GFS が停止している時に、ENTRY スイッチを押しながらクリップ収録スイッチを押すと GFS が REC 動作になり、自動的に 2 秒間クリップを収録します。
- (b) GFS は、クリップが既に記録されている場合は、現在あるクリップを削除して新しいクリップを作成します。  
(GFPACK 内の BIN999 (クリップ用) CLIP001 を再収録します)
- (c) この一連の動作中、クリップ収録スイッチが赤色点灯します。
- (d) クリップ収録動作中は他の動作を受付けません。
- (e) クリップ収録が完了するとクリップ収録ランプは消灯します。

3-19. EDIT-1/EDIT-2 スイッチ (上記外観図 ⑱ )



接点動作 : モーメンタリ- (ガードカバー付き)

スクリーン色 : 乳白/乳白色

LED 色 : アンバー/アンバー

- (a) EDIT-1 選択時、リアパネルの EDIT-1 からのシリアル通信により GFS の制御を可能とします。
- (b) EDIT-1 選択時、PARALLEL OUT より EDIT-1-S を出力します。
- (c) GFS が REMOTE 状態で ATMT が EDIT-1 選択時のみ点灯します。
- (d) EDIT-1 選択中 GFS が LOCAL になっている時または、EDIT-1 になにも接続されていない時、等編集機と GFS 間で通信が行われてない時、EDIT-1 ランプが点滅します。
- (e) EDIT-1 が選択された場合、GFS の編集モード (インサート、アッセンブルモード) を解除します。
- (f) EDIT-2 選択時、EDIT-2 からのシリアル通信により GFS の制御を可能とします。
- (g) EDIT-2 選択時、PARALLEL OUT より EDIT-2-S を出力します。
- (h) GFS が REMOTE 状態で ATMT が EDIT-2 選択時のみ点灯します。
- (i) EDIT-2 選択中 GFS が LOCAL になっている時または、EDIT-2 になにも接続されていない時、等編集機と GFS 間で通信が行われてない時、EDIT-2 ランプが点滅します。
- (j) EDIT-2 が選択された場合、GFS の編集モード (インサート、アッセンブルモード) を解除します。



3-20. 強制 OK スイッチ (上記外観図 ⑳ )



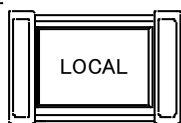
接点動作 : モーメンタリ-  
スクリーン色 : 白色  
LED 色 : アンバー色

- (a) 正常な送出停止位置 (PQ-STOP 位置) で無い場合に操作者の判断で送出位置であると判断した場合「強制 OK」スイッチを押下することで上記の「OK」表示灯が点灯状態となります。  
※PQ-PB 完了したことと同等扱いになる
- (b) 強制 OK 受付条件は、GFPK が装填されていてかつアタッチメントが「REMOTE」選択状態で (上位との REMOTE が可能な状態) かつアタッチメントと GFS が通信可能な状態で (COM ERROR などない状態) かつ停止している状態の時に、ENTRY スイッチと強制 OK スイッチを同時に押すと強制 OK 状態となり「OK」ランプが点灯します。
- (c) 解除条件は、STOP/STILL 以外になった時に、「OK」表示灯が消灯します。

※強制 OK 時には、MASTER-REM コネクタ 36OUT に「チェック OK」が出力されます。45OUT の「準備 OK」には出力されません。

※強制 OK 時に、MASTER-REM コネクタ 19IN へ「事前チェック制御」を受けたら、「事前チェック応答」パルス (500ms) を 41OUT に返します。

### 3-21. LOCALスイッチ（上記外観図 ㊦）



接点動作 : モーメンタリ-  
スクリーン色 : 白色  
LED色 : アンバー色

- (a) アタッチメントのバックスイッチまたは、GFSの操作バックで操作を可能にします。
- (b) LOCAL選択時、PARALLEL OUTよりLOCAL-Sを出力します。
- (c) ATMTがLOCALでGFSがREMOTE状態かつファリス入力が供給されている時は、点灯します。
- (d) GFSがLOCAL状態になっている時は点滅します。
- (e) リファリス入力が無い場合は点滅します。
- (f) LOCALが選択された場合、HD-GFSの編集モード（インサート、アッセンブルモード）を解除します。

※完プロ収録スタンバイ、クレジット収録、PQ-REC、PQ-ERASEシーケンス中は他の制御系選択は禁止されます。

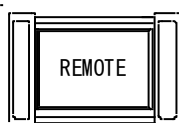
※各制御シーケンス中はREMOTE → LOCAL 及び LOCAL → REMOTEの選択が可能です。それ以外の制御系選択は禁止します。

但し、REMOTE → LOCALに切替えた時はATMTエラー音が鳴りENTRYが赤色点滅します。ENTRYスイッチを押すことによりブザー音が停止しENTRYの赤色点滅が解除されます。

※各シーケンス中REMOTE→LOCALに切替えた場合は動作は継続します。

※各シーケンス中、EDIT-1,EDIT-2には切り替わりません。

### 3-22. REMOTE スイッチ（上記外観図 ㉔）



接点動作 : モーメンタリ-  
スクリーン色 : 白色  
LED 色 : アンバー色

- (a) REMOTE 端子からのコマンドにより制御します。（パラレル制御）
- (b) REMOTE 選択時、PARALLEL OUT より REMOTE-S を出力します。
- (c) GFS が REMOTE 状態で ATMT が REMOTE 選択時のみ点灯します。
- (d) REMOTE 選択状態で GFS が LOCAL になっている時、又は to GFS REMOTE に何も接続されていない場合は点滅します。
- (e) REMOTE が選択された場合、HD-GFS の編集モード（インサート、アッセンブルモード）を解除します。

※REMOTE 選択時の PQ-REC, PQ-ERASE, 完プロ収録スタンバイ、クレジット収録シーケンス中は REMOTE からのコマンドは受け付けません。

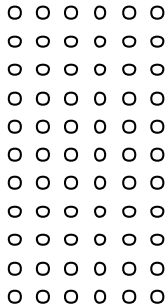
※REMOTE 選択時の PQ-PB シーケンス中は REMOTE からの REW, STOP/STILL コマンドのみ受け付けます。

※REMOTE 選択時の REC 中は REMOTE からの STOP/STILL, TC/TM1, CTL RESET コマンドのみ受け付けます。

※REMOTE 選択時の PLAY 中は OA TALLY 受付け時以外、REMOTE からのコマンドは全て受け付けます。

※REMOTE 選択時の REC 中に LOCAL と REMOTE 間の選択は可能ですが、それ以外には切り替わりません。

3-23. ブザー (上記外観図 ⑳ )



- (a) PQ-PB 時 PQ 点を検知し停止音 (BEEP) を出力します。
- (b) MENU の設定により BEEP1~BEEP4、ブザー-OFF が選べます。

※ブザー-音量は以下の5種類です。

- OFF : ブザー-音なし
- BEEP1 : ブザー-小 VAR (フロントパネル基板の RV1 で音量調整が可能)
- BEEP2 : ブザー-小 MAX (最大音量)
- BEEP3 : ブザー-大 VAR (メニュースイッチ基板の RV1 で音量調整が可能)
- BEEP4 : ブザー-大 MAX (最大音量)

※ブザー-音が選べる MENU は以下の7種類です。

- "50:DET-BEEP SW" : PQ 検出音 (デフォルト BEEP1)
- "53:ATMT ERR BEEP SW" : ATMT 号機灯ブリンクエラー時 (デフォルト BEEP 4)
- "54:OPE BEEP SW" : スイッチ操作音 (デフォルト BEEP 1)
- "55:OPE ERR1 BEEP SW" : スイッチ操作を受付けない音 (デフォルト BEEP 1)
- "56:OPE ERR2 BEEP SW" : ST-READY or OK 状態からはずれ時 (デフォルト BEEP 4)

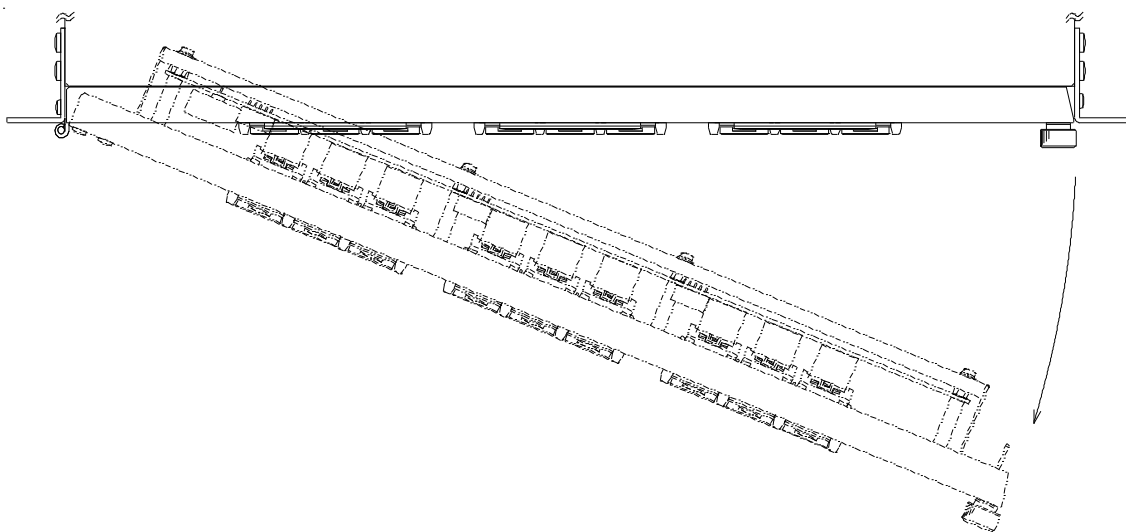
※その他の PQ 検出音設定

- "52:DET-BEEP ON-AIR" : ONAIR 中の検出音設定 (デフォルト DISABLE)
- DISABLE : ONAIR 中 PQ 検出音を鳴らさない
- ENABLE : ONAIR 中 PQ 検出音を鳴らす

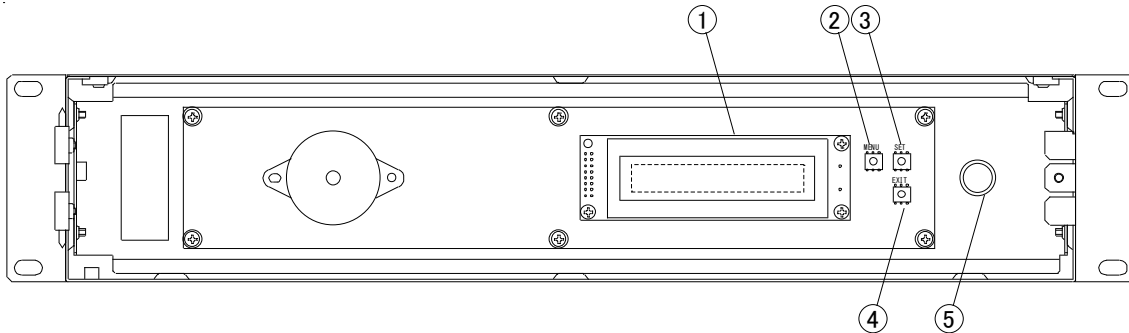
3-24. フロントパネル固定ネジ（上記外観図 ②）



- (a) フロントパネル開口部を固定するためのネジです。
- (b) MENU 設定する時は、ネジを回してフロントパネルを開きます。

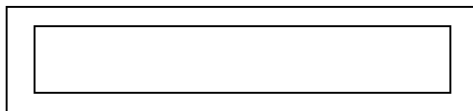


#### 4. MENU 操作パネル



※フロントパネルは開閉式になっており、中に MENU 操作パネルがあります。

##### 4-1. LCD 表示器（上記外観図 ①）



- (a) カスタマイズ設定等を行うための MENU 表示器です。
- (b) MENU スイッチを押すことにより MENU モードに移行します。
- (c) 通常はステータス表示器として機能します。
- (d) ERROR 発生時は現在発生している ERROR 内容\*がサイクリック表示されます。（複数 ERROR が同時発生してる場合、1 秒毎に現在発生している ERROR 内容が切り替わり表示されます）

\*エラーコードの詳細については、「6-3. ERROR 表示について」を参照して下さい。

##### 4-2. MENU スイッチ（上記外観図 ②）



接点動作 : モーメンタリー

- (a) MENU スイッチを押すと LCD 表示器にメニュー（設定項目）が表示され、MENU スイッチ上隣の LED が点灯します。

- (b) MENU スイッチ LED 点灯中 EXIT スイッチを押すことによりメニューが終了し、MENU スイッチ LED が消灯します。

#### 4-3. SET スイッチ（上記外観図 ③）



接点動作 : モーメンタリー

- (a) SET スイッチを押すと LCD 表示器に表示されている設定項目がセットされます。
- (b) SET スイッチは押した瞬間のみ SET 上隣の LED が点灯します。
- (c) SET スイッチを押して MENU 内容が確定した時に短い音「ピッ」が鳴ります。

#### 4-4. EXIT スイッチ（上記外観図 ④）



接点動作 : モーメンタリー

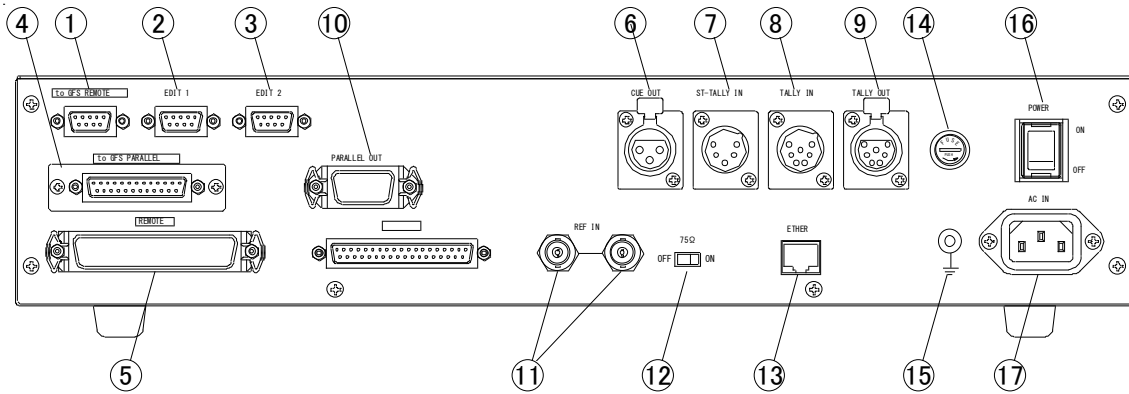
- (a) EXIT スイッチを押すと LCD 表示器に表示されている現在の設定項目をセットしないで抜けることができます。
- (b) EXIT スイッチは押した瞬間のみ EXIT 上隣の LED が点灯します。

#### 4-5. MENU 設定用ツマミ（上記外観図 ⑤）



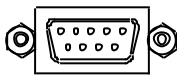
- (a) MENU 設定用ツマミを回すことにより、MENU 設定項目を変更することができます。
- (b) MENU スイッチ上隣の LED 点灯中のみ機能します。

## 5. リアパネル



### 5-1. to GFS REMOTE コネクタ (上記外観図 ① )

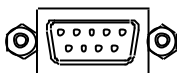
to GFS REMOTE



- (a) コントロールする GFS の REMOTE-1 IN(9P)コネクタと接続します。
- (b) LOCAL 時、MCI-3211 から GFS をコントロールします。
- (c) EDIT 時、編集機などから直接 GFS をコントロールします。

### 5-2. EDIT-1 コネクタ (上記外観図 ② )

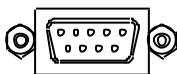
EDIT 1



- (a) 編集機などコントローラの REMOTE(9P)コネクタと接続します。
- (b) 詳細はコネクタ・ピニアサイン/EDIT-1 コネクタを御参照下さい。

### 5-3. EDIT-2 コネクタ (上記外観図 ③ )

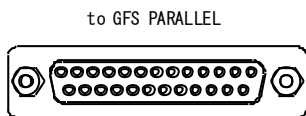
EDIT 2



- (a) 編集機などコントローラの REMOTE(9P)コネクタと接続します。
- (b) 詳細はコネクタ・ピニアサイン/EDIT-2 コネクタを御参照下さい。

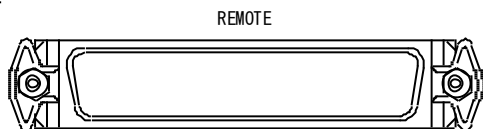


5-4. to GFS PARALLEL コネクタ（上記外観図 ④）



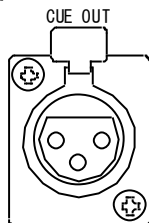
- (a) GFS の PARA I/O コネクタと接続します。
- (b) 詳細はコネクタ・ピンプアサイン／to GFS PARALLEL コネクタを御参照下さい。

5-5. REMOTE コネクタ（上記外観図 ⑤）



- (a) 上位システムからのパラレル制御を接続します。
- (b) パラレル制御を RS-422A に変換して GFS をコントロールします。
- (c) REMOTE コネクタからの制御は GFS がリモート状態の時のみ有効です。
- (d) 詳細はコネクタ・ピンプアサイン／REMOTE コネクタを御参照下さい。

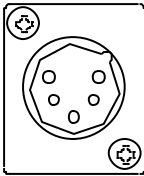
5-6. CUE OUT コネクタ（上記外観図 ⑥）



- (a) 未使用です。
- (b) 詳細はコネクタ・ピンプアサイン／CUE OUT コネクタを御参照下さい。

### 5-7. ST-TALLY IN コネクタ（上記外観図 ⑦）

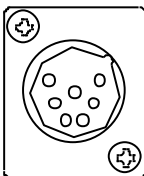
ST-TALLY IN



- (a) スタジオ上位システムからの OA TALLY を接続します。
- (b) 詳細はコネクタピンサイン／ST-TALLY IN コネクタを御参照下さい。

### 5-8. TALLY IN コネクタ（上記外観図 ⑧）

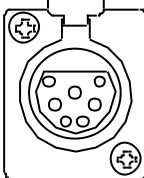
TALLY IN



- (a) 上位システムからの OA TALLY を接続します。
- (b) 詳細はコネクタピンサイン／TALLY IN コネクタを御参照下さい。

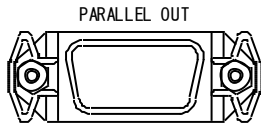
### 5-9. TALLY OUT コネクタ（上記外観図 ⑨）

TALLY OUT



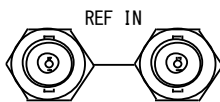
- (a) 外部に OA TALLY 情報が必要な時、使用します。
- (b) 詳細はコネクタピンサイン／TALLY OUT コネクタを御参照下さい。

5-10. PARALLEL OUT コネクタ（上記外観図 ⑩）



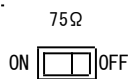
- (a) 外部に状態ステータス情報が必要な時、使用します。
- (b) 詳細はコネクタピッチサイン／PARALLEL OUT コネクタを御参照下さい。

5-11. REF IN コネクタ（上記外観図 ⑪）



- (a) 局内同期信号を入力します。
- (b) 1125(3 値 SYNC)／525(B.B)の入力に自動対応しています。
- (c) REF IN のスルー出力ができます。  
(使用するときは、75Ω 終端 SW は OFF にします。)

5-12. 75Ωスイッチ（上記外観図 ⑫）



- (a) 75Ωスイッチにより 75Ω 終端の ON／OFF 設定ができます。

5-13. Ether コネクタ（上記外観図 ⑬）



- (a) Ether NET（100BASE T）制御ポートです。
- (b) ソフト Version Up、メンテナンスなどで使用します。

5-14. FUSE ボックス (上記外観図 ⑭ )



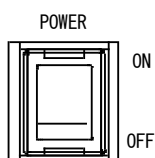
(a) 2A のヒューズ を使います。

5-15. アース端子 (上記外観図 ⑮ )



(a) 必要に応じて、電源アースと接続します。

5-16. POWER スイッチ (上記外観図 ⑯ )



(a) 電源の ON/OFF するためのスイッチです。

5-17. AC IN コネクタ (上記外観図 ⑰ )

(a) 付属の電源コード を使って、電源コンセントに接続します。

## 6. コネクターピンプアサイン

### 6-1. REMOTE コネクター (スタジオ仕様)

アンフェノール 50S

※入出力欄は ATMT 側を示します。

No.	入出力	名称	機能	備考
1	IN	C-GND	フロント コモン	
2	IN	PLAY	GFS を PLAY します。	
3	IN	PQ PB	PQ PB 動作します。(次頁③参照)	次のクリップ PQ 点で PQ-PB 完了
4	IN	完プロ収録スタート	完プロパターンで収録することのスタートにします。	収録準備完了後、完了を ON
5	IN	完プロクリップ表示	ボタン押下中のみクリップを表示します。	
6	IN	STOP/STILL	GFS を STOP または STILL にします。(次頁④参照)	
7	IN	REC	GFS を REC します。	
8	IN	REW	60 倍速で REW します。	
9	IN	FF	60 倍速で FF します。	
10	IN	PQ REC	PQ 信号を記録します。	(次頁⑥参照)
11	IN	PQ ERASE	PQ STOP した PQ 信号を消去します。(MENU 7R 参照)	PQ-PB 完了状態であること
12	IN	PREVIOUS クリップ	前のクリップの PQ 点又はファイル冒頭へジャンプします。	(次頁⑬参照)
13	IN	NEXT クリップ	次のクリップの PQ 点又はファイル冒頭へジャンプします。	(次頁⑭参照)
14	IN	REC INHIBIT	FREE/REC INH を切り換えます。	
15	IN	クリップ TOP	現在のクリップの最初のフレームを表示	
16	IN	クリップ END	現在のクリップの最終フレームを表示	
17	IN	STBY ON	GFS をスタート ON します。	GFS を STILL 状態にする。
18	IN	EJECT	GPPAK を EJECT します。	
19	IN	クリップ収録	現在あるクリップを削除して新しいクリップを作成します。	クリップは 2 秒間収録します。
20	IN	REMOTE	ATMT を REMOTE モードに切り換えます。	
21	IN	LOCAL	ATMT を LOCAL モードに切り換えます。	
22	IN	TC/TM	TC、タイムを切り換えます。	
23	IN	CTL RESET	タイムをリセットします。	
24	IN	PB/EE	GFS の VIDEO 出力の PB/EE を切り換えます。	
25	IN	PQ-スタート	現在のクリップ内の PQ 点に瞬時にスタートする。	
26	OUT	S-GND	リア コモン	
27	OUT	PLAY	PLAY 中 ON になります。	
28	OUT	PQ PB	PQ PB 中 ON になります。	(次頁⑦参照)
29	OUT	STBY ON	STBY ON 中 ON になります。	STBY OFF で OFF します。
30	OUT	STOP/STILL	STOP/STILL 中 ON になります。	(次頁⑧参照)
31	OUT	完プロ収録スタート	完プロ収録スタート ON になります。	
32	OUT	REC	REC 中 ON になります。	
33	OUT	REW	REW 中 ON になります。	
34	OUT	FF	FF 中 ON になります。	
35	OUT	PQ REC	PQ REC 中 ON になります。	(次頁⑩参照)
36	OUT	PQ ERASE	PQ ERASE 中 ON になります。	
37	OUT	完プロ収録スタート完了	完プロ収録スタート完了時 ON になります。	
38	OUT	REC INHIBIT	GFS が REC INHIBIT になった時、ON になります。	FREE の時 OFF します。
39	OUT	PQ PB 完了	PQ PB 完了及び PQ-スタート時、ON になります。	(次頁⑨参照)
40	OUT	GPPAK THREAD	GFS に GPPAK がある時、ON になります。	(次頁⑫参照)
41	OUT	クリップ収録	クリップを収録中 ON になります。	
42	OUT	PREVIOUS クリップ	PREVIOUS クリップサーチ中 ON になります。	
43	OUT	NEXT クリップ	NEXT クリップサーチ中 ON になります。	
44	OUT	TIMER MODE	GFS が TIMER モードの時、ON になります。	
45	OUT	REMOTE MODE	ATMT が REMOTE モードの時、ON になります。	
46	OUT	LOCAL MODE	ATMT が LOCAL モードの時、ON になります。	
47	OUT	ERROR STATUS	ATMT 又は GFS がエラー状態の時 ON になります。	(次頁⑪参照)
48	OUT	TC MODE	GFS が TC モードの時、ON になります。	TIMER モードで OFF します。
49	OUT	PB MODE	GFS が PB モードの時、ON になります。	EE モードで OFF します。
50	OUT	+24V DC OUT	+24V DC OUT (MAX 120mA)	

スタジオ REMOTE 仕様コネクタ (MENU 「01:ATMT MODE SEL」 が STUDIO 時)

- ① REMOTE コネクタからのコマンド及びステータスの受け渡しはREMOTEスイッチ点灯時に有効です。※但し、ERROR ステータス及び REMOTE/LOCAL 切り換えは除外
  - ② ATMT が GFS と制御状態になると GFS のコントロールパネルで設定したインサート、アセンブル状態を解除します。
  - ③ PQ-PB の動作仕様は、フロントパネルにある ENTRY/PQ-PB スwitchを同時に押した時の検知動作と同じです。
  - ④ GFS が停止している時は、ST-BY ON(STILL にて PB 状態)させます。GFS が走行中は、ストップになります。\*
  - ⑤ OA TALLY を受けている間は下記の動作になります。
    - ・ OA TALLY を受けると GFS のコントロールパネルが無効になります。\*
    - ・ PQ-PB 動作中に次の PQ 点に来ても、GFS はストップしません  
OA TALLY が解除されると次の PQ 点にて停止します。\*
    - ・ OA TALLY を受けると GFS は PLAY or PQ-PB になります。\*
    - ・ OA TALLY を受けている間、REMOTE コネクタからの制御を禁止します。\*
  - ⑥ PQ-REC の動作仕様は、フロントパネルにある ENTRY /PQ-REC スwitchを同時に押した時の動作と同じです。
  - ⑦ PQ-PB ステータスはフロントパネルの ENTRY /PQ-PB スwitchが同時に押され、PQ-PB 動作になっている間又は、REMOTE コネクタに PQ-PB コマンドを受けて PQ-PB 動作になっている間出力します。
  - ⑧ GFS が、停止状態で点灯するか STILL 状態のみ点灯するか選択可能です。\*
  - ⑨ PQ PB 完了ステータスは PQ-PB 機能により、次の PQ を検出して GFS がストップしている間出力します。(PQ-スタンバイ時も同様) 動くと消灯します。
  - ⑩ PQ-REC ステータスはフロントパネルの ENTRY /PQ-REC スwitchが同時に押され、PQ-REC 動作になっている間又は、REMOTE コネクタに PQ-REC コマンドを受けて PQ-REC 動作になっている間出力します。
  - ⑪ ERROR ステータスは、アタッチメントが REMOTE 選択時のみ出力するか、常時出力するかを MENU 「87:ST-REM ERR-S SEL」にて設定可能です。\*
  - ⑫ GFP AK THREAD ステータスは、アタッチメントが REMOTE 選択時出力します。LOCAL 選択時は出力するかを MENU にて設定可能です。\*
  - ⑬ 前クリップの PQ 点へ移動します。PQ 点が無い場合は、ファイル冒頭へ移動します。前クリップが無い場合は ATMT で音のみ。複数クリップでループはしません。
  - ⑭ 次クリップの PQ 点へ移動します。PQ 点が無い場合は、ファイル冒頭へ移動します。次クリップが無い場合は ATMT で音のみ。複数クリップでループはしません。
- \* MENU の設定によります。

## 6-2. REMOTE コネクタ (運行装置仕様)

アンフェノール 50S

※入出力欄は ATMT 側を示します。

No.	入出力	名称	機能	備考
1	IN	C-GND	コマンド コモン	
2	IN	PLAY (スタート制御)	GFS を PLAY します。	
3	IN	PQ PB (スタート制御)	PQ PB 動作します。(次頁③参照)	次のクリップ PQ 点で PQ-PB 完了
4	IN			
5	IN			
6	IN	STOP/STILL (ストップ制御)	GFS を STOP または STILL にします。(次頁④参照)	
7	IN	REC	GFS を REC します。	
8	IN	REW	60 倍速で REW します。	
9	IN	FF	60 倍速で FF します。	
10	IN	PQ REC	PQ 信号を記録します。	(次頁⑥参照)
11	IN	PQ ERASE	PQ STOP した PQ 信号を消去します。	PQ-PB 完了状態であること
12	IN	PREVIOUS クリップ	前のクリップの PQ 点又はフイルム冒頭へジャンプします。	(次頁⑫参照)
13	IN	NEXT クリップ	次のクリップの PQ 点又はフイルム冒頭へジャンプします。	(次頁⑬参照)
14	IN			
15	IN	クリップ TOP	現在のクリップの最初のフレームを表示	
16	IN	クリップ END	現在のクリップの最終フレームを表示	
17	IN	STBY ON	GFS をスタンバイ ON します。	GFS を STILL 状態にする。
18	IN	終了制御	再生中であれば再生を停止して EJECT する。	(次頁⑭参照)
19	IN	事前チェック制御	REMOTE 中かつ STBY 中かつ PQ-スタンバイを確認する。	応答は PIN に出力します。
20	IN	REMOTE	ATMT を REMOTE モードに切り換えます。	
21	IN	ON AIR TALLY	ON AIR TALLY を入力します。	メタ接点連続受け
22	IN	TC/TM	TC、タイマーを切り換えます。	
23	IN	CTL RESET	タイマーをリセットします。	
24	IN	PB/EE	GFS の VIDEO 出力の PB/EE を切り換えます。	
25	IN	PQ-スタンバイ制御	現在のクリップ内の PQ 点に瞬時にスタンバイする。	
26	OUT	S-GND	スタンバイ コモン	
27	OUT	PLAY	PLAY 中 ON になります。	
28	OUT	PQ PB	PQ PB 中 ON になります。	(次頁⑦参照)
29	OUT	STBY ON	STBY ON 中 ON になります。	STBY OFF で OFF します。
30	OUT	STOP/STILL	STOP/STILL 中 ON になります。	(次頁⑧参照)
31	OUT	PQ-スタンバイ応答	PQ-スタンバイ制御コマンドを受け完了したら応答する。	メタ接点 500ms パルス出し。
32	OUT	REC	REC 中 ON になります。	
33	OUT	REW	REW 中 ON になります。	
34	OUT	FF	FF 中 ON になります。	
35	OUT	PQ REC	PQ REC 中 ON になります。	(次頁⑩参照)
36	OUT	チェック OK	準備 OK かつ事前チェック制御以後または強制 OK 時 ON	
37	OUT	スタート応答	PLAY or PQ-PB コマンドを受け再生開始で応答します。	メタ接点 500ms パルス出し。
38	OUT	ストップ 応答	STOP/STILL コマンドを受け再生停止で応答します。	メタ接点 500ms パルス出し。
39	OUT	PQ PB 完了	PQ PB 完了及び PQ-スタンバイ時、ON になります。	(次頁⑨参照)
40	OUT	終了 応答	終了制御コマンドを受けたら応答します。	メタ接点 500ms パルス出し。
41	OUT	事前チェック 応答	REMOTE 状態かつ STBY 中かつ PQ 完 or 強制 OK で 応答	メタ接点 500ms パルス出し。
42	OUT	PREVIOUS クリップ	PREVIOUS クリップ サーチ中 ON になります。	
43	OUT	NEXT クリップ	NEXT クリップ サーチ中 ON になります。	
44	OUT	TIMER MODE	GFS が TIMER モードの時、ON になります。	TC モードで OFF します。
45	OUT	準備 OK	REMOTE 状態かつ GFFAK 装填中かつ PQPB 完了時 ON	強制 OK 時は ON になりません。
46	OUT	電源 ON	GF STATION 及び ATMT が動作状態である場合に ON。	
47	OUT	ERROR STATUS	ATMT 又は GFS がエラー状態の時 ON になります。	(次頁⑪参照)
48	OUT	OA 終了※	OA 切りが OFF に変化し一定時間 OFF が継続したら ON。	(次頁⑮参照) LOCAL で OFF
49	OUT	PB MODE	GFS が PB モードの時、ON になります。	EE モードで OFF します。
50	OUT	+24V DC OUT	+24V DC OUT (MAX 120mA)	

※48 OUT の OA 終了スタンバイ出力条件は OA 切りが OFF して MENU 設定時間後かつ終了制御受信時となります。

運行装置 REMOTE 仕様コネクタ (MENU「01:ATMT MODE SEL」が ON AIR 時)

- ① REMOTE コネクタからのコマンド及びステータスの受け渡しは REMOTE スイッチ点灯時に有効です。
  - ② REMOTE コネクタから ST-BY ON-C,PLAY-C,STOP-C,PQ-PB-C,PQ-REC-C を受けると GFS のコントロール 1 社で設定したイサート、アンプル状態を解除します。
  - ③ PQ-PB-C の動作仕様は、フロント 1 社にある READY/PQ-PB スイッチを同時に押した時の動作と同じです。
  - ④ GFS が停止している時は、ST-BY ON(STILL にて PB 状態)させます。GFS が走行中は、ストップになります。\*
  - ⑤ OA TALLY を受けている間は下記の動作になります。
    - ・ OA TALLY を受けると GFS のコントロール 1 社が無効になります。\*
    - ・ PQ-PB 動作中に次の PQ 点に来ても、GFS はストップしません  
OA TALLY が解除されると次の PQ 点にて停止します。\*
    - ・ OA TALLY を受けると GFS は PLAY or PQ-PB になります。\*
    - ・ OA TALLY を受けている間、REMOTE コネクタからの制御を禁止します。\*
  - ⑥ PQ-REC の動作仕様は、フロント 1 社にある ENTRY /PQ-REC スイッチを同時に押した時の動作と同じです。
  - ⑦ PQ-PB ステータスはフロント 1 社の ENTRY /PQ-PB スイッチが同時に押され、PQ-PB 動作になっている間又は、REMOTE コネクタに PQ-PB コマンドを受けて PQ-PB 動作になっている間出力します。
  - ⑧ GFS が、停止状態で点灯するか STILL 状態のみ点灯するか選択可能です。\*
  - ⑨ PQ PB 完了ステータスは PQ-PB 機能により、次の PQ を検出して GFS がストップしている間出力します。(PQ-スタンバイ時も同様) 動くと消灯します。
  - ⑩ PQ-REC ステータスはフロント 1 社の ENTRY /PQ-REC スイッチが同時に押され、PQ-REC 動作になっている間又は、REMOTE コネクタに PQ-REC コマンドを受けて PQ-REC 動作になっている間出力します。
  - ⑪ ERROR ステータスは、アタッチメントが REMOTE 選択時のみ出力するか、常時出力するかを MENU「77:REMOTE ERR-S SEL」にて設定可能です。\*
  - ⑫ 前クリップの PQ 点へ移動します。PQ 点が無い場合は、ファイル冒頭に移動します。前クリップが無い場合は ATMT で音のみ。複数クリップでループはしません。
  - ⑬ 次クリップの PQ 点へ移動します。PQ 点が無い場合は、ファイル冒頭に移動します。次クリップが無い場合は ATMT で音のみ。複数クリップでループはしません。
  - ⑭ MENU「END CONTROL SEL」により停止や EJECT 等が選択可能。\*
  - ⑮ 0 秒～30 秒まで秒単位で OFF の継続判定時間を設定可能です。\*
- \* MENU の設定によります。



6-3. to GFS PARALLEL コネクタ (GF STATION の 25PIN とストレート接続)

GF STATION → ※使用ピン欄は、MCI-3211 の機能を正常に動作させるために必要なピンです。  
 HDDB-25S 又、入出力欄は GFS 側を示します。 #はユーザー設定が可能なピン

No.	入出力	名称	機能	備考	使用ピン
1	OUT	OUT1 S			
2	OUT	OUT2 S			
3	OUT	OUT3 S			
4	OUT	OUT4 S			
5	OUT	OUT5 S			
6	OUT	OUT6 S			
7	IN	IN1 S	ON AIR 列-入力	Make で ON AIR TALLY ON	○
8	IN	IN2 S	プロトコル選択入力	Make で GFS モード、Break で SONY モード	○
9	IN	IN3 S			
10	IN	IN4 S			
11	IN	IN5 S			
12	IN	IN6 S			
13	GND				○
14	OUT	OUT1 G			
15	OUT	OUT2 G			
16	OUT	OUT3 G			
17	OUT	OUT4 G			
18	OUT	OUT5 G			
19	OUT	OUT6 G			
20	IN	IN1 G			○
21	IN	IN2 G			○
22	IN	IN3 G			
23	IN	IN4 G			
24	IN	IN5 G			
25	IN	IN6 G			

#### 6-4. to GFS REMOTE コネクタ

##### D-SUB 9PIN メス座

No.	名称	動作
1	FG	フレーム GND
2	to GFS REM RX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
3	to GFS REM TX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
4	TRANSMIT COMMON	送信信号 GND
5	N.C	受信信号 GND
6	RECEIVE COMMON	
7	to GFS REM RX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
8	to GFS REM TX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
9	FG	フレーム GND

#### 6-5. EDIT-1 コネクタ

##### D-SUB 9PIN メス座

No.	名称	動作
1	FG	フレーム GND
2	EDIT-1 TX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
3	EDIT-1 RX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
4	RECEIVE COMMON	受信信号 GND
5	N.C	
6	TRANSMIT COMMON	送信信号 GND
7	EDIT-1 TX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
8	EDIT-1 RX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
9	FG	フレーム GND

#### 6-6. EDIT-2 コネクタ

##### D-SUB 9PIN メス座

No.	名称	動作
1	FG	フレーム GND
2	EDIT-2 TX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
3	EDIT-2 RX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
4	RECEIVE COMMON	受信信号 GND
5	N.C	
6	TRANSMIT COMMON	送信信号 GND
7	EDIT-2 TX+	RS-422 信号レベル (平衡+)
8	EDIT-2 RX-	RS-422 信号レベル (平衡-)
9	FG	フレーム GND

6-7. CUE OUT コネクタ

XLR-3-32F77 (XLR3PIN メス座)

No.	名称	動作
1	COMMON	信号 GND
2	CUE OUT+	オーディオ信号レベル (平衡+)
3	CUE OUT-	オーディオ信号レベル (平衡-)

6-8. ST-TALLY IN コネクタ



ST-TALLY IN コネクタ

(a) OA TALLY-C は常時有効です。

6-9. TALLY IN コネクタ



TALLY IN コネクタ

(a) OA TALLY-C は常時有効です。

## 6-10. TALLY OUT コネクタ



### TALLY OUT コネクタ

- (a) OA TALLY OUT は、TALLY IN コネクタ又は ST-TALLY IN コネクタ又は REMOTE コネクタに OA TALLY-C を受けている間出力します。
- (b) OK-S OUT は PQ-PB 完了 (PQ-STOP 状態) で、アタッチメントが「REMOTE」状態 (上位 REMOTE との通信が可能な状態) かつ MENU にて REMOTE コネクタが運行装置モードになっているかつアタッチメントと GFS が通信可能な状態のとき出力します。
- (c) ST-READY-S OUT は、PQ-PB 完了 (PQ-STOP 状態) で、アタッチメントが「REMOTE」状態 (上位 REMOTE との通信が可能な状態) かつ MENU にて REMOTE コネクタがスタジオモードになっているかつアタッチメントと GFS が通信可能な状態のとき出力します。

### 6-11. PARALLEL OUT コネクタ



\* MENU 「01:ATMT MODE SEL」設定が“MASTER”になっている時に  
REMOTE スイッチを選択すると出力されます。

\*\* MENU 「01:ATMT MODE SEL」設定が“STUDIO”になっている時に  
REMOTE スイッチを選択すると出力されます。

## 7. MENU

### 7-1. MENU 設定について

#### ①バージョン情報及び各 GFS 及び ATMT 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
00:SYSTEM INFO	表示のみ	VER H00 S0100-10 S2 などバージョン情報を表示*	—
01:ATMT MODE SEL	STUDIO	スタジオ用 ATMT (スタジオ REMOTE)	○
	MASTER	運行装置送出用 ATMT (運行装置 REMOTE)	
02:FORMAT SEL	GFS	コントロールする GFS を GFS-V10 に設定	○
	TEST	VTR での TEST モードの設定	
03:EDIT 9P MODE SEL	9PIN	EDIT1/2 選択時に 9 ピン プトコムに設定します。	○
	GFS	EDIT1/2 選択時に拡張 9 ピン プトコムに設定します。	
07:REF ERR MASK	OFF	REF エラーは有効です	○
	GFS	GFS からの REF エラーを無効にします	
	ATMT	ATMT の REF エラーを無効にします	
	ALL	GFS と ATMT の REF エラーを無効にします	

\* "VER H00 S0100-10 S2" 表示の意味について

"H00" : PLD のバージョン番号

"S0100-10" : ファームのバージョン番号

"S2" : 保守情報

## ②CONFIG BANK 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
08:CONFIG BANK LOAD	Non	ATMT の設定情報を LOAD しません	○
	BANK1	ATMT の設定情報を BANK1 から LOAD します	
	BANK2	ATMT の設定情報を BANK2 から LOAD します	
	BANK3	ATMT の設定情報を BANK3 から LOAD します	
	BANK4	ATMT の設定情報を BANK4 から LOAD します	
	BANK5	ATMT の設定情報を BANK5 から LOAD します	
	BANK6	ATMT の設定情報を BANK6 から LOAD します	
	BANK7	ATMT の設定情報を BANK7 から LOAD します	
	BANK8	ATMT の設定情報を BANK8 から LOAD します	
09:CONFIG BANK SAVE	Non	ATMT の設定情報を SAVE しません	○
	BANK1	ATMT の設定情報を BANK1 に SAVE します	
	BANK2	ATMT の設定情報を BANK2 に SAVE します	
	BANK3	ATMT の設定情報を BANK3 に SAVE します	
	BANK4	ATMT の設定情報を BANK4 に SAVE します	
	BANK5	ATMT の設定情報を BANK5 に SAVE します	
	BANK6	ATMT の設定情報を BANK6 に SAVE します	
	BANK7	ATMT の設定情報を BANK7 に SAVE します	
	BANK8	ATMT の設定情報を BANK8 に SAVE します	

### 08:CONFIG BANK LOAD について

- ・ 予め保存した ATMT 設定情報を読み込みます。  
つまみを回して BANK No.を選び、SET スwitchを押すことにより設定情報を読み出すことが可能です。

※CONFIG BANK LOAD 後、自動的に再起動します

### 09:CONFIG BANK SAVE について

- ・ ATMT の設定情報を最大 8 パターン SAVE 可能です。  
つまみを回して BANK No.を選び、SET スwitchを押すことにより設定情報を保存することが可能です。

### ③ERROR LOG 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
10:ERR-LOG	000~999	000~999 エラーログ表示	000
11: ERR-LOG SAVE	SAVE	エラーログの保存	○
	EXIT	そのまま抜ける	
12: ERR-LOG ERASE	EXIT	そのまま抜ける	○
	ERASE	エラーログの消去	

#### 10:ERR-LOG について

本機で検知されるエラーは以下の内容です。

このエラーが、LCD 下段のサイクリック表示 及び エラーログされるものです。

- ・ ログ表示例: 25PIN のスイッチが LOCAL になっていた場合。

```
"10:ERR-LOG >000 5:01"
```

```
" E1061:50P LOC ER" 25PIN が LOCAL になっていた (最後のログ)
```

```
"10:ERR-LOG >001 FULL"
```

```
" E1052:GFS LOC ER" 9PIN LOCAL になっていた (最後の次のログ)
```

上の行の>3桁の数字は、ログ番号 "000~999" です。

ログ番号が"999"を超えた場合、古いコマンドログ番号から消去され、最新コマンドログ番号が上書きされます。

上の行の一番後ろに記述してある "5:01" は時間を表します。

前回のログからの経過時間を示します。(秒:フレーム単位)

例えば、"5:01" は前回の变化から 5 秒 01 フレーム後のログを表します。

時間表示範囲は"0:00" (0 秒 0 フレーム) ~ "9:29" (9 秒 29 フレーム) です。

※ "9:29" (9 秒 29 フレーム) 以上経過している場合は<FULL

下の行先頭の数字"E????"はエラーコードです。

エラーの種類を表します。



・号機等点滅エラー関係（発生時, Beep と エラーログ と LCD に周回表示）

"E1010:EXT REF ER" : 本機へのリファレンス入力が途絶えた場合

"E1020:GFS COM ER" : ATMT<->GFS との RS422 通信が途絶えた場合

"E1030:ED1 COM ER" : EDIT-1<->GFS との RS422 通信が途絶えた場合

"E1040:ED2 COM ER" : EDIT-2<->GFS との RS422 通信が途絶えた場合

※ "E1050:SNS ER\*\*\*\*\*" : 周期センス(TcExt/Int,RecInhi 状態等)エラー

"E1051:GFS H/W ER" : GFS から H/W ERROR のアンサーがあった場合

"E1052:GFS LOC ER" : GFS から GFS Local のアンサーがあった場合

"E1053:GFS REF ER" : GFS から Ref Miss のアンサーがあった場合

"E1060:25P OFF ER" : 未使用

"E1061:25P LOC ER" : 未使用

※"\*\*\*\*\*"はサービスマンコードです

・操作時に発生するエラー関係（発生時, Beep と エラーログ）

"E2010:GFS NotRdy" : GFS が 通信断,Local,NoPack 等である

"E2011:GFS NotStp" : PQREC/完フル収録スタンバイ操作時 GFS が 停止していない

"E2012:GFS NotDet" : PQERA 操作時 GFS が PGPB 完 状態でない

"E2013:GFS DetStp" : PQREC 操作時 GFS が PGPB 完 状態である

"E2014:GFS RecIhi" : REC 系操作時 GFS が REC 禁止状態である

"E2015:GFS NotTm" : SREM の CtlReset 操作時 GFS が TM 状態でない

"E2016:GFS REC " : GFS が 収録中(※主に REMOTE 操作時)

"E2017:GFS STBYOF" : GFS が StbyOff 状態である (※主に事前チェック時等)

"E2020:ATMT BUSY1" : ATMT が処理中(Swr 切替,ExtInt,RecInhi 等)

"E2021:ATMT BUSY2" : ATMT が処理中(完フル収録スタンバイ,PqPb 等)

"E2022:ATMT ABOT1" : 強制中断(TcExt/Int,RecInhi 等)

"E2023:ATMT ABOT2" : 強制中断(完フル収録スタンバイ,PqPb 等)

"E2024:ATMT PGPB " : PGPB 動作中(OA 起動等で PGPB を重複起動した場合等)

"E2030:OA INHI " : OA 中

"E2040:RMT SEL ER" : LOCAL,REMOTE,EDIT-1,EDIT-2 選択状態エラー

"E3010:GFS Busy " : GFS ビジー中 (Copy 中等)

"E3011:GFS SeqBsy" : GFS シーケンス動作中

"E3020:GFS Clip " : GFS 既にクリップ°がある (※主に KST-sw 操作時)

"E3021:GFS PqInfo" : GFS 既に PQ 点登録がある (※主に PQREC-sw 操作時)

"E3022:GFS NoPq" : GFS 現 Clip 内に PQ 点登録が無い(※PqStby-sw 操作時等)

"E3023:GFS TopClip" : GFS 既に先頭クリップ°

"E3024:GFS EndClip" : GFS 既に最終クリップ°

"E3025:GFS ClipT " : GFS 既にクリップ° TOP

"E3026:GFS ClipE " : GFS 既にクリップ° END

"E3027:GFS NoPqSt" : GFS PQ 点で停止中の状態でない  
(※GFS アンサー"PqStp"bit 監視による)

"E3028:GFS NoClip" : GFS クリップ°が何も無い

"E3029:GFS KstCpl" : GFS 完° 収録 Stby 状態  
(※主にクレジット収録-sw,Edit1/2-sw 操作時)

・各処理が正常終了しなかった場合のエラー (発生時, Beep と エラーログ)

"E9010:INIT \*\*\*\*\*" : 初期設定通信 エラー完了  
(※起動時や通信断からの復帰時の通信等)

"E9011:LcDis \*\*\*\*\*" : Local Dis コマンドエラー完了(※OA 時や上位選択時等)

"E9011:LcEna \*\*\*\*\*" : Local Ena コマンドエラー完了

"E9011:STBON \*\*\*\*\*" : Standby-On 通信エラー完了

"E9011:PLAY \*\*\*\*\*" : PLAY コマンド° 通信 エラー完了

"E9011:OAPLY \*\*\*\*\*" : OA 起動での PLAY コマンド° 通信 エラー完了

"E9011:REC \*\*\*\*\*" : REC コマンド° 通信 エラー完了

"E9011:RECST \*\*\*\*\*" : REC 停止目的での STOP コマンド° 通信 エラー完了

"E9011:STOP \*\*\*\*\*" : STOP コマンド° 通信 エラー完了

"E9011:STILL \*\*\*\*\*" : STILL コマンド° 通信 エラー完了(※JOG Still)

"E9011:FF \*\*\*\*\*" : FF コマンド° 通信 エラー完了

"E9011:REW \*\*\*\*\*" : REW コマンド° 通信 エラー完了

"E9011:EJECT \*\*\*\*\*" : EJECT コマンド° 通信 エラー完了

"E9011:STPEJ \*\*\*\*\*" : STOP & EJECT 通信 エラー完了

"E9011:TC/TM \*\*\*\*\*" : TIMER MODE SELECT 通信 エラー完了

"E9011:CTLRS \*\*\*\*\*" : Ctl Reset 通信 エラー完了

"E9011:PB/EE \*\*\*\*\*" : PB/EE SELECT 通信 エラー完了  
(※E9011 エラーは REMOTE 操作によるコマンド° 通信エラー完了です)

※"\*\*\*\*"はサービスマンコードです

"E9030:TCSEL \*\*\*\*" : "EXT/INT" 操作時のエラー(通信等)完了  
"E9031:RECIH \*\*\*\*" : "RECINHI" //  
"E9040:GFSER \*\*\*\*" : GFS シーケンスエラーコード (※GFS からのエラー情報)  
"E9041:PQREC \*\*\*\*" : "PQ REC" 操作時のエラー(通信等)完了  
"E9042:PQERA \*\*\*\*" : "PQ ERA" //  
"E9043:PQPB \*\*\*\*" : "PQ PB" //  
"E9044:CLPJP \*\*\*\*" : "CLIP TOP/END" //  
"E9045:KST \*\*\*\*" : "完フ 収録 Stby" //  
"E9046:CRDDS \*\*\*\*" : "クレジット表示" //  
"E9047:CRDRC \*\*\*\*" : "クレジット収録" //  
"E9050:LOCAL \*\*\*\*" : "LOCAL" 操作時のエラー(通信等)完了  
"E9051:MS-RM \*\*\*\*" : "REMOTE(Master 時)" //  
"E9052:ST-RM \*\*\*\*" : "REMOTE(ST 時)" //  
"E9053:EDIT1 \*\*\*\*" : "EDIT1" 操作時のエラー(通信等)完了  
"E9054:EDIT2 \*\*\*\*" : "EDIT2" //

※"\*\*\*\*"はサービスマンコードです

・先述 "E904x:~" エラー発生時, \*\*\*\* 部分が "C\*\*\*\*" コード値の場合は以下の意味

"C120" : PQREC 要求後, 完了がタイムアウト  
"C121" : // 要求後, GFS 側エラー完了した  
"C130" : // 後の PlayBack で PQ 停止しなかった  
"C220" : PQERA 要求後, 完了がタイムアウト  
"C221" : // 要求後, GFS 側エラー完了した  
"C320" : PQ 頭出し(Prev,Next,PqStby) 要求後, 完了がタイムアウト  
"C321" : // 要求後, GFS 側エラー完了した  
"C322" : // 完了後, 頭出し位置が PQ 点でも ClipTop でもない  
"C330" : PQPB 要求後, 完了を待たずに GFS が PQPB 状態でなくなった  
"C331" : PQPB 要求後, 実行中ステータスは抜けたが完了ステータスにならなかった  
"C332" : PQPB 要求後, GFS 側エラー完了した  
"C333" : PQPB 完了時, GFS 側の PQ 点停止 ステータスが立っていない

"C420": Clip-Top/End 要求後, 完了がタイムアウト  
"C421": // 要求後, GFS 側エラー完了した  
"C520": 完プロ収録 Stby 要求後, 完了がタイムアウト  
"C521": // 要求後, GFS 側エラー完了した  
"C620": クリップ表示 要求後, 完了がタイムアウト  
"C621": // 要求後, GFS 側エラー完了した  
"C720": クリップ収録 要求後, 完了がタイムアウト  
"C721": // 要求後, GFS 側エラー完了した

・参考

本ユニット電源投入時、または、通常使用中において、  
H/W 故障や致命的のバグに関連するような不具合が発生した場合、  
LCD 上段表示に "SYSTEM ERROR ~" と表示されます。  
この表示が出た場合は、修理を依頼して下さい。

※ 例: 起動時にメモリ異常が検知された場合等

LCD 上段: "SYSTEM ERROR BOOT"

LCD 下段: "E0006:SRAM ER"

※ 致命的なエラーなので、ログ処理自体が信用出来ない場合も  
あり、システムエラーはログしていません。

※ ERR-LOG は COM-LOG にも同様にエラー内容が記録されます

#### 11:ERR-LOG SAVE について

・エラーログを保存したい時 SAVE します。

※ MCI-3211 の電源を切るとエラーログが消えてしまいますが、SAVE すること  
によりエラーログを不揮発性 RAM へバックアップすることができます。

#### 12:ERR-LOG ERAS について

- エラーログを消去したい時に ERASE します。

#### ④COMMAND LOG 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
20:COM-LOG	000~999	000~999 コマンドログ表示	000
21:COM-LOG SAVE	SAVE	コマンドログの保存	○
	EXIT	そのまま抜ける	
22:COM-LOG ERASE	EXIT	そのまま抜ける	○
	ERASE	コマンドログの消去	

#### 20: CMD-LOG について

- ログ表示例: ST-REM GPI の PQPБ が操作された場合

"20:CMD-LOG >000 0:15"

" REM1:PQPБ-0" PQPB が離された (最後のログ)

"20:CMD-LOG >001 9:29"

" REM1:PQPБ-1" PQPB が押された (最後の次のログ)

上の行の>3桁の数字は、ログ番号 "000~999" です。

ログ番号が"999"を超えた場合、古いコマンドログ番号から消去され、最新コマンドログ番号が上書きされます。(エラーログも記録されます)  
上の行の一番後ろに記述してある "0:15" は時間を表します。

前回のログからの経過時間を示します。(秒:フレーム単位)

例えば、"0:15" は前回の变化から 0 秒 15 フレーム後のログを表します。  
時間表示範囲は"0:00" (0 秒 0 フレーム) ~ "9:29" (9 秒 29 フレーム) です。

※ "9:29" (9 秒 29 フレーム) 以上経過している場合は<FULL

下の行先頭のアルファベット "RM","ST","GFS","PNL","TLY"は GPI の入力ポートを表します。

" RM" は REMOTE ネット (運行装置) からのログを示します。

" ST" は REMOTE ネット (スタジオ) からのログを示します。

" GFS " は GFS ネットからのログを示します。

" PNL" はフロントパネル操作によるログを示します。

" TLY " は TALLY IN ネットからのログを示します。

下の行先頭後のアルファベットはコマンド又はステータスを表します。

下の行の後ろに付いている "-0"又は"-1"はコマンドの立ち下がり、立ち上がりを表しています。

"-1" は立ち下がりを示します。

“-0” は立ち上がりを示します。

・ REMOTE (運行装置) GPI 入力コマンドログ表示

"RM:PLAY"	:
"RM:PQPB"	:
"RM:STP/STL"	:
"RM:REC"	:
"RM:REW"	:
"RM:FF"	:
"RM:PQREC"	:
"RM:PQERA"	:
"RM:PREVC"	:(※前クリップ)
"RM:NEXTC"	:(※次クリップ)
"RM:CTOP"	:(※クリップ TOP)
"RM:CEND"	:(※クリップ END)
"RM:STBYON"	:
"RM:ENDCONT"	:(※終了制御)
"RM:RDYCHK"	:(※事前チェック)
"RM:REMOTE"	:(※MASTER 時での REMOTE)
"RM:RM-OA"	:(※MASTER ONAIR)
"RM:TC/TM"	:
"RM:CTLRST"	:
"RM:PB/EE"	:
"RM:PQSTBY"	:

・ REMOTE (スタジオ) GPI 入力コマンドログ表示

"ST:PLAY"	:
"ST:PQPB"	:
"ST:KSTBY"	:(※完プロ収録スタンバイ)
"ST:KCREC"	:(※クレジット表示)
"ST:STP/STL"	:
"ST:REC"	:
"ST:REW"	:
"ST:FF"	:
"ST:PQREC"	:
"ST:PQERA/KST"	:(※メニューにより,完プロ収録スタンバイ)

"ST:PREVC"	: (※前クリップ)
"ST:NEXTC"	: (※次クリップ)
"ST:RECINHI"	:
"ST:CTOP"	: (※クリップ TOP)
"ST:CEND"	: (※クリップ END)
"ST:STBYON"	:
"ST:EJECT"	:
"ST:CREDS"	: (※クレジット収録)
"ST:REMOTE"	: (※ST 時での REMOTE)
"ST:LOCAL"	:
"ST:TC/TM"	:
"ST:CTLRST"	:
"ST:PB/EE"	:
"ST:PQSTBY"	:

・フロントパネル操作による入力コマンドログ表示

"PNL:PREVC"	: (※前クリップ)
"PNL:CTOP"	: (※クリップ TOP)
"PNL:CEND"	: (※クリップ END)
"PNL:EXT/INT"	:
"PNL:RECINHI"	:
"PNL:KSTBY"	: (※完プロ収録スタンバイ)
"PNL:NEXTC"	: (※次クリップ)
"PNL:PQREC"	:
"PNL:PQERA"	:
"PNL:PQSTBY"	:
"PNL:PQPB"	:
"PNL:ENTRY"	:
"PNL:KCRED"	: (※クレジット表示)
"PNL:CREDS"	: (※クレジット収録)
"PNL:EDIT1/2"	:
"PNL:KOK"	: (※強制 OK)
"PNL:LOCAL"	:
"PNL:REMOTE"	:

・TALLY IN ステータス ログ 表示

"TLY:ST-OA"	: (※ST 系 ONAIR)
"TLY:RM-OA"	: (※MASTER 系 ONAIR)
・動作ログ関係 (※PLAY/STOP 関連のみ)	
"RCP PLAY"	: "PLAY" 要求を受付
"RCP STOP"	: "STOP" 要求を受付
"RCP PQPB"	: "PQPB" 要求を受付
"RCP PQSTBY"	: "PQ STBY" 要求を受付
"SND PLAY"	: PLAY を送信
"SND REC"	: REC を送信
"SND REC-STOP"	: STOP を送信 (※REC 停止目的で)
"SND STOP"	: STOP を送信
"SND STILL"	: STILL を送信 (※JOG STILL)
"SND FF"	: FF を送信
"SND REW"	: REW を送信
"SND EJECT"	: EJECT を送信
"SND STOP,EJECT"	: STOP,EJECT を送信
"EXE PQPB"	: PQPB の実行開始

## 21: COM-LOG SAVE について

- ・コマンドログを保存したい時 SAVE します。

※ MCI-3211 の電源を切るとコマンドログが消えてしまいますが、SAVE することによりコマンドログを不揮発性 RAM へバックアップすることができます。

## 22: COM-LOG ERASE について

- ・コマンドログを消去したい時に ERASE します。



### ⑤PQ-REC 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
30:PQ-REC TIME	00S00F~04S00F	停止位置から PQ 点までの時間設定	00S00F
36:PQ-REC PLAY BACK	DISABLE	PQ-REC(PQ-ERASE) PLAYBACK 機能無効	
	ENABLE	PQ-REC(PQ-ERASE) PLAYBACK 機能有効	○

### ⑥PQ-PB 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
40:PQ-PB UP TIME	00S00F~04S00F	PQ 点からの停止までの時間設定*	00S00F
44:PQ-PB END CTLSET	DISABLE	PQ-PB 完了時 CTL-PRESET しない	○
	ENABLE	PQ-PB 完了時 CTL-PRESET する	
45:PQ-PB CTL PRESET	-30S00F~00S00F	PQ-PB 完了時の CTL 値を設定	00S00F

\* 40:PQ-PB UP TIME について 補足

PQ-PB UP TIME は、PQ 点を基準に静止するまでの時間を設定します。

## ⑦BEEP 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
50:DET-BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
52:DET-BEEP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中に検出音を OFF	○
	ENABLE	ON-AIR 中に検出音を上記設定で鳴らす	
53:ATMT ERR BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
54:OPE BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
55:OPE ERR1 BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
56: OPE ERR2 BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	
57:CONT ERR BEEP SW	OFF	検出音を OFF	
	BEEP1	検出音を小ブザー (VAR) で鳴らす	○
	BEEP2	検出音を小ブザー (最大音量) で鳴らす	
	BEEP3	検出音を大ブザー (VAR) で鳴らす	
	BEEP4	検出音を大ブザー (最大音量) で鳴らす	

詳細は「3-22. ブザー」を参照して下さい。

"50:DET-BEEP SW" : PQ の検出音設定

"52:DET-BEEP ON-AIR" : ONAIR 中の検出音設定

"53:ATMT ERR BEEP SW" : ATMT 号機灯ブリンクエラー時

"54:OPE BEEP SW" : スイッチ操作音

"55:OPE ERR1 BEEP SW" : スイッチ操作を受付けない音

"56:OPE ERR2 BEEP SW" : ST-READY or OK 状態からはずれ時

"57:CONT ERR BEEP SW" : 操作実行中エラー終了した時

### ⑧ON AIR 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
60:DET STOP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PQ 検知により停止しない	○
	ENABLE	ON-AIR 中 PQ 検知により停止する	
61:PLAY/PQ-PB ON-AIR*	DISABLE	ON-AIR 列-受付時コマンドを発行しない	○
	PLAY	ON-AIR 列-受付時 PLAY-C を発行	
	PQ-PB	ON-AIR 列-受付時 PQ-PB-C を発行	
	ST PLAY	ON-AIR 列-受付時 ST-REM のみ PLAY-C を発行	
	ST PQ-PB	ON-AIR 列-受付時 ST-REM のみ PQ-PB-C を発行	
62:REM PLAY-C ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PLAY-C を受け付けない	
	ENABLE	ON-AIR 中 PLAY-C を受け付ける	○
63:REM PQ-PB ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 PQ-PB-C を受け付けない	
	ENABLE	ON-AIR 中 PQ-PB-C を受け付ける	○
64:REM STOP ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 STOP-C を受け付けない	○
	ENABLE	ON-AIR 中 STOP-C を受け付ける	
65:GFS INHI ON-AIR	DISABLE	ON-AIR 中 GFS を LOCAL DISABLE にしない	
	ENABLE	ON-AIR 中 GFS を LOCAL DISABLE にする**	○

\* 61:PLAY/PQ-PB ON-AIR について 補足

運行系 TALLY 及びスタジオ系 TALLY による起動条件が制御選択スイッチにより異なりますのでご注意ください。

ON AIR TALLY による起動条件を以下の表に示します。

メニュー-設定項目	ON AIR 条件	LOCAL	REMOTE	ST-REM	EDIT1/2
DISABLE	運行系 TALLY IN	—	—	—	—
	スタジオ系 TALLY IN	—	—	—	—
PLAY	運行系 TALLY IN	PLAY 起動	PLAY 起動	—	—
	スタジオ系 TALLY IN	PLAY 起動	—	PLAY 起動	—
PQ-PB	運行系 TALLY IN	PQ-PB 起動	PQ-PB 起動	—	—
	スタジオ系 TALLY IN	PQ-PB 起動	—	PQ-PB 起動	—
ST PLAY	運行系 TALLY IN	—	—	—	—
	スタジオ系 TALLY IN	PLAY 起動	—	PLAY 起動	—
ST PQ-PB	運行系 TALLY IN	—	—	—	—
	スタジオ系 TALLY IN	PQ-PB 起動	—	PQ-PB 起動	—

⑨REMOTE 設定（運行装置での REMOTE）

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
70: REM STATUS OUT	REM	GFS が REM 時のみ REMOTE STATUS を出力	○
	LOC&REM	GFS が LOC 時にも REMOTE STATUS を出力	
71: REM REC-C SEL	REC-C	REC-C を受けると REC する	
	REC-C&PLAY-C	REC-C と PLAY-C を同時に受けると REC する	○
74: REM STOP MODE SEL	STOP	STOP-C を受けると STOP する	○
	STILL	STOP-C を受けると STILL する	
75: REM STOP-S SEL	STOP&STBY	GFS 停止中かつ PB 中スゾオへ STOP-S を出力	○
	STOP	GFS 停止中 STOP-S を出力	
76: REM GFS INHI	DISABLE	REMOTE 中 GFS を LOCAL DISABLE にしない	
	ENABLE	REMOTE 中 GFS を LOCAL DISABLE にする	○
77: REM ERROR-S SEL	NORMAL	エラー発生時常に上位へ ERROR-S を通知する	○
	REM-SW	エラー状態で REMOTE 選択時のみ ERROR-S を通知する	
78: ON AIR END RSP DLY	00S~30S	OA 列 OFF から OA 終了スゾオが出力される時間設定*	15S
79: END CONTROL SEL	DISABLE	終了制御を受けても再生を停止しない。	○
	STOP	終了制御を受けると再生を停止する。	
	EJECT	終了制御を受けると再生を停止して EJECT する。	

\* OA 列が ON から OFF に変わった状態で、設定した時間 OFF が継続したら ON

⑩ST-REM 設定（スタジオでの REMOTE）

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
7G: ST STATUS OUT	REM	GFS が REM 時のみ ST-REM STATUS を出力	○
	LOC&REM	GFS が LOC 時にも ST-REM STATUS を出力	
7H: ST REC-C SEL	REC-C	REC-C を受けると REC する	
	REC-C&PLAY-C	REC-C と PLAY-C を同時に受けると REC する	○
7L: ST STOP MODE SEL	STOP	ST-REM から STOP-C を受けると STOP する	○
	STILL	ST-REM から STOP-C を受けると STILL する	
7M: ST STOP-S SEL	STOP&STBY	GFS 停止中かつ PB 中スゾオへ STOP-S を出力	○
	STOP	GFS 停止中スゾオへ STOP-S を出力	
7N: ST GFS INHI	DISABLE	ST-REM 中 GFS を LOCAL DISABLE にしない	
	ENABLE	ST-REM 中 GFS を LOCAL DISABLE にする*	○
7P: ST ERROR-S SEL	NORMAL	エラー発生時常に上位へ ERROR-S を通知する	○
	ST-SW	エラー状態で ST-REM 選択時のみ ERROR-S を通知する	
7Q: ST LOC GFPK STS	DISABLE	LOCAL 時 GFPK THREAD を出力しない	○
	ENABLE	LOCAL 時 GFPK THREAD を出力する	
7R: KST SW MODE	NORML	11 ビットにコマンドを受けると PQ-ERASE 動作します。	○
	MODE1	11 ビットにコマンドを受けると完パ録スゾオが動作します。*	

\* 11 ビットからの完パ録スゾオが動作は MENU「80:KST MODE SEL」で設定したモードの逆動作

(例.GFPAK に設定されている場合は追っかけ再生動作を行いません) になります。

### ⑪ その他の設定

\* KST は完プロ収録ストップの略です。

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
80:KST MODE SEL	GFPK	完プロ収録時、装着パックへ直接収録します。	
	RECPB	完プロ収録時、追っかけ再生動作を行いません。	○
81:KST TCG SET	00:59:56:00	完プロ収録ストップ時 00:59:56:00 を PRESET する	○
	09:59:56:00	完プロ収録ストップ時 09:59:56:00 を PRESET する	
C0:LOCAL OUT SEL	PB	LOCAL 時、GFS 出力信号を PB にする	○
	EE	LOCAL 時、GFS 出力信号を EE にする	
C1:REMOTE OUT SEL	PB	REMOTE 時、GFS 出力信号を PB にする	○
	EE	REMOTE 時、GFS 出力信号を EE にする	
C2:EDIT-1 OUT SEL	PB	EDIT-1 時、GFS 出力信号を PB にする	○
	EE	EDIT-1 時、GFS 出力信号を EE にする	
C3:EDIT-2 OUT SEL	PB	EDIT-2 時、GFS 出力信号を PB にする	○
	EE	EDIT-2 時、GFS 出力信号を EE にする	

### ⑫ SYSTEM 設定

メニュー	設定項目	機能	デフォルト設定
F0:UNIT ID	1~8	機器番号を設定します	1
F1:IP ADDRESS	xxx.xxx.xxx.xxx	Ether NET の IP ADDRESS を設定します	192.168.001.240
F2:IP SUBNET MASK	xxx.xxx.xxx.xxx	Ether NET の IP SUBNET MASK を設定します	255.255.255.000
F3:MAC ADDRESS	表示のみ	Ether NET の MAC ADDRESS を表示します	機器に依ります
F4:GFS STS MONI	表示のみ	各種 GFS ステータス	00
F6:I/O CHECK MODE	00~99	メンテナンスでの機器テスト等で使用します	00
F7:FW UPDATE MODE	DISABLE	通常設定	○
	ENABLE	ファームウェアアップデート等で使用します	
	SILENT	ファームウェアアップデート等で使用します(静音モード)	

#### F0:UNIT ID について

機器番号管理等で使用します。

#### F1:IP ADDRESS について

デフォルト時 “192.168.001.250” に設定されています。

複数の機器を LAN 接続する場合、機器毎に違う IP アドレスを設定して下さい。

#### F2:IP SUBNET MASK について

デフォルト時 “255.255.255.000” に設定されています。

サブネットマスクを設定して下さい。

### F3:MAC ADDRESS について

Ethernet カード固有の物理アドレスです。

物理アドレスが表示されます。

### F4:GFS STS MONI について

メンテナンスで使用します。

各種の GFS ステータスが表示されます。

### F6: I/O CHECK MODE について

メンテナンスで使用します。

- ①設定 “>020 : Led All” でフロントパネルの全 LED チェックが出来ます。  
ランプが正常に機能しているか確認するのに便利です。
- ②設定 “>030 : Sw Panel” でフロントパネルの全 SW チェックが出来ます。  
各スイッチが正常に機能しているか確認するのに便利です。
- ③設定 “>040 : Beep 1” ~ “>043 : Beep 4” でフロントパネルのブザー音  
チェックが出来ます。  
ブザーが正常に機能しているか確認するのに便利です。
- ④設定 “050 : Ref Io” で REF チェックモードに入ります。  
機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。  
REF 入力があるとき “02” ない場合 “03” 表示になります。
- ⑤設定 “>061 : CueTone On” で CUE TONE チェックモードに入ります。  
機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。  
CUE TONE 信号を発生します。  
CUE TONE 信号のレベルを確認することができます。
- ⑥設定 “070 : GPI Test” で REMOTE スルーチェックモードに入ります。  
機能を抜ける場合は EXIT 釦を押してください。  
REMOTE スルーチェックモードに入ると、押したスイッチに対しての  
TALLY LED がそのまま返り点灯します。  
外部 REMOTE 等のスイッチ入力及びパルラル接点出力の動作確認を  
するのに便利です。
- ⑦設定 “080 : ReBoot Test” で SET 釦を押すことによりファームリスタート  
モードに入ります。(CPU のシステムリセットを行います。)
- ⑧設定 “081 : SysErr Test” で SET 釦を押すことにより SYSTEM ERROR  
疑似発生モードに入ります。機能を抜ける場合には、電源を再投入して  
ください。

### F7: F/W UPDATE MODE について

LAN によるリモートメンテナンスで使⽤します。  
 ファームウェアの更新や設定情報の読み書き等で使⽤します。

## 7-2. MENU の初期化について

本ユニット電源投入時に「ENTRY」スイッチと「LOCAL」スイッチを同時押しで立ち上げると、MENU 設定項目が工場出荷時設定にイニシャライズされます。

※電源投入時、ENTRY と LOCAL 以外のスイッチは押さないように注意して下さい。

## 7-3. ERROR 表示について

エラーが発生した場合 LCD 表示器にエラーコード<sup>①</sup>を表示します

### ERROR 表

エラー表示	エラー内容	処置内容
E1010:EXT REF ER	本機への REF が入力されていない	A
E1020:GFS COM ER	GFS との RS422 通信でエラーが発生しました	A
E1030:ED1 COM ER	EDIT-1 と GFS 間で通信断になりました	A
E1040:ED2 COM ER	EDIT-2 と GFS 間で通信断になりました	A
E1050:SNS ER****	周期センス(TcExt/Int,RecInhi 状態等)エラーです	A
E1051:GFS H/W ER	GFS のハードウェア異常	B
E1052:GFS LOC ER	GFS が LOCAL になっています	A
E1053:GFS REF ER	GFS に REF が入力されていない	A
E2010～E3024	操作エラーです	A
E9010～E9054	コマンド 通信 エラー完了 (※操作によるコマンド 通信等)	A
SYSTEM ERROR ～	自己診断中で H/W 故障や致命的エラーが発生しました。	C

NOTE. A 操作手順、設置条件、接続ケーブル等を点検して下さい。

B 点検して下さい。症状によっては GFS の修理を依頼して下さい。

C 本機の修理を依頼して下さい。

\*\*\*\*はサービスマンコードです





## 8. その他の機能

### 8-1 AUTO EDIT 自動解除機能について

- (a) ATMT が GFS と制御状態になると GFS のコントロールパ<sup>ル</sup>で設定したインサート、アッセンブル状態を解除します。

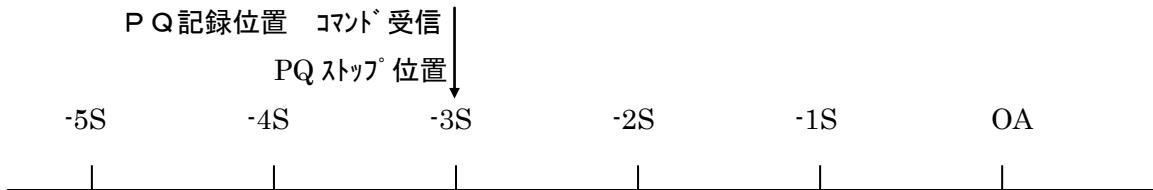
### 8-2 アラーム機能について

- (a) OA 取り入力で LOCAL スイッチ又は EDIT-1 スイッチ又は EDIT-2 を押すと、アラームが鳴り、ENTRY ランプ<sup>が</sup>が点滅します。
- (b) アラームが鳴っているとき ENTRY スイッチを押すと、アラームが止まり、ENTRY ランプ<sup>が</sup>は消灯します。
- (c) GFS が LOCAL になっている間アラームが鳴ります。アラームが鳴っている時 ENTRY スイッチを押すと、アラームが止まります。
- (d) アタッチメントに正規のリファレンス信号が入力されていない時、アラームが鳴ります。アラームが鳴っている時「ENTRY」スイッチを押すと、アラームが止まります。
- (e) アタッチメントが REMOTE または EDIT-1 または EDIT-2 の時に REC INH スイッチを押すことにより、アラーム音が鳴ります。
- (f) スタジオ READY 状態でアタッチメント LOCAL または EDIT-1 または EDIT-2 にすることによりアラームが鳴ります。
- (g) (f) の場合 REMOTE スイッチを押すことにより、アラーム音が止まり、ENTRY ランプ<sup>が</sup>は消灯します。
- (h) OK 状態でアタッチメント LOCAL または EDIT-1 または EDIT-2 にすることによりアラームが鳴ります。
- (i) (h) の場合 REMOTE スイッチを押すことにより、アラーム音が止まり、ENTRY ランプ<sup>が</sup>は消灯します。

## 9. PQフォーマット

### 9-1. PQ記録フォーマット

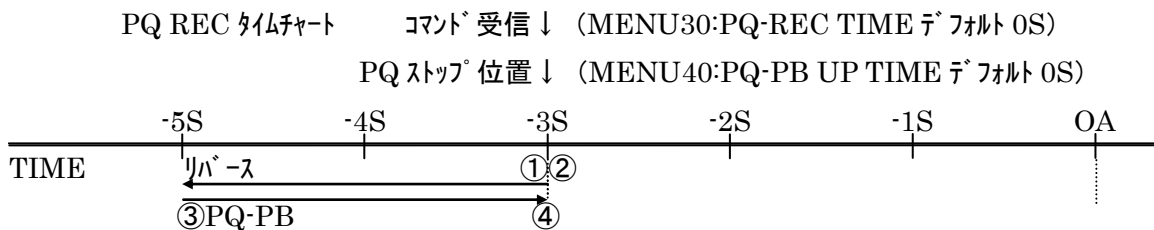
記録位置 : 下記参照  
 停止位置 : 記録位置



## 10. PQ REC シーケンス

GFS が STOP の時 (パラレル制御・スイッチ入力)

- ① GFS へ PQ-REC を指示します。その時、PQ REC ランプが点灯します。
- ② この位置より、PQ を記録します。(MENU30:PQ-REC TIME によりマイクス方向へ 0S~-4S まで設定可能です。 ※下図はデフォルト 0S)
- ③ 引き続き記録した PQ 点を PQ PB 確認することもできます。  
 (MENU「36:PQ-REC PLAYBACK」“ENABLE” 設定により可能)  
 PQ 点から -2S へリバースします。その時、REMOTE 列- PQ REC を OFF し PQ-REC ランプも消灯します。又、同時に REMOTE 列- PQ-PB を ON にし PQ-PB ランプが点灯します。
- ④ PQ 点を検出し停止します。REMOTE 列- PQ-PB を OFF し、PQ-PB ランプを消灯します。又、同時にリモート列- PQ-PB 完了を ON にし完了ランプが点灯します。



## 1.1. PQ PBシーケンス

### PQ PB (パルル制御・スイッチ入力)

- ① GFSにPQ・PBを指示します。
- ② GFSがPLAYすると共に、PQ PBランプを点灯し、REMOTE列-PQ PBをONにします。
- ③ GF STATIONがPQを検出します。
- ④ PQ検出後(PQ点より0秒0F~4秒0F後)の範囲内で停止させることが可能です。(MENU「40:PQ-PB UP TIME」で設定した位置にSTOPします※デフォルト設定0秒)
- ⑤ PQ PBランプを消灯し、REMOTE列-PQ PBをOFFします。REMOTE列-PQ PB完了をONし、PQ PB完了ランプを点灯します。
- ⑥ CTLカウンターをMENU「45:PQ-PB CTL PRESET」設定によりPRESETします。(設定範囲は0S~-4Sまで可能※デフォルト0S)

## 12. 完プロ収録スタンバイシーケンス

### 12-1. 完プロ収録スタンバイ（パラル制御・スイッチ入力）

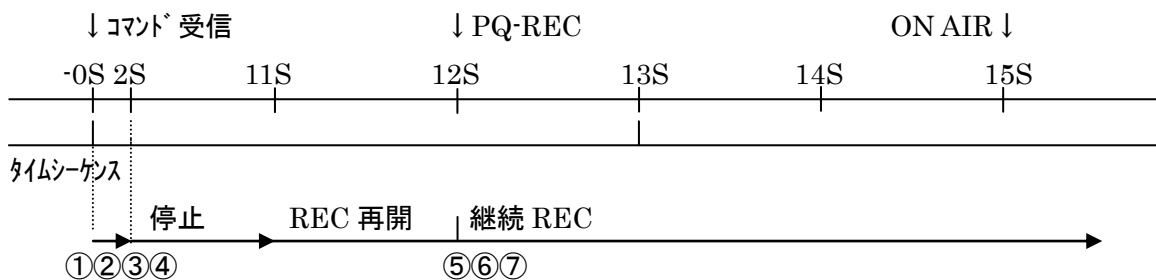
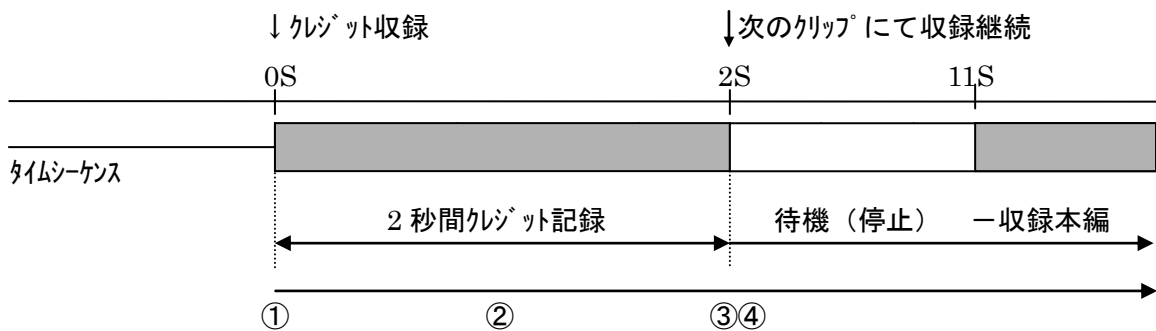
- ① STOP 状態の時にコマンドを受けると、スタジオ 完プロ収録スタンバイ中を ON すると共に、完プロ収録スタンバイランプをアンバー色点灯します。
- ② GFS は GFP AK 内のファイルを ALL 削除してから BIN999 に(クレジット用) CLIP001 を作成します
- ③ ファイルの準備が整い、完プロ収録スタンバイ状態でスタジオ 完プロ収録スタンバイ中を OFF すると共に、完プロ収録スタンバイランプを消灯します。
- ④ スタジオ 完プロ収録スタンバイ完了を ON すると共に、完プロ収録スタンバイ完了ランプを緑色点灯します。
- ⑤ 上位システムからの REC 操作により、GFS は完プロ収録シーケンスを実行します。  
詳細は、58 ページ「12-2. 完プロ収録スタンバイ完了後の REC による自動 PQ REC」を参照して下さい。
- ⑥ 完了ランプは GFS が STOP/STILL 以外になった時に消灯します。

※完プロ収録スタンバイでの REC 動作は MENU 「80:KST MODE SEL」設定により GFP AK へ直接収録するか、追っかけ再生を行ないながら収録するか選択可能です。(デフォルトは” GFP AK” 直書きモードになっています。)

12-2. 完プロ収録スタンバイ完了後の REC による自動 PQ REC※ (パラレル制御)

※GFS の設定により、RIS 完了後 REC することにより自動 PQ REC を行います。

- ① コマンド受信により GFS は REC を開始します。
  - ② 完プロ収録スタンバイ完了ステータス及び完プロ収録完了ランプが消灯して自動的に 2 秒間クレジットを収録します。(INT の場合はタイムコード 00:00:00:00 から記録します)
  - ③ 2 秒後、PQ REC ランプを ON します。
  - ④ GFS が BIN001 を作成し、クレジットを収録後、一時待機します。BIN001 の CLIP001 として、捨てカットの開始する 11 秒後から REC を再開します。
  - ⑤ 12 秒後 PQ-REC します。(デフォルトは 12 秒)
- ※GFS の設定により REC 開始からの PQ-REC 開始時間設定が可能です。
- ⑥ スタジオ切り PQ REC を OFF すると共に PQ REC ランプを消灯します。
  - ⑦ GFS は REC を継続します。



※INT/EXT スイッチが EXT の場合は、クレジットも本編も外部 TC の通り収録されます。

※INT/EXT スイッチが INT の場合は、11 秒後 REC 開始時の TIMECODE は 00:59:56:00 から収録されます。また、MENU 「81:KST TCG SET」にて 09:59:56:00 も選択可能です。

### 13. 一般仕様

#### 13-1. 一般

電源	: AC100V ±10%、50/60Hz
消費電力	: 50VA 以下
動作温度	: 5°C~40°C
使用湿度	: 20%~80%
外形寸法	: 480×88×400mm (幅/高さ/奥行き ※突起部を除く)
質量	: 約 7Kg

#### 13-2. 入出力

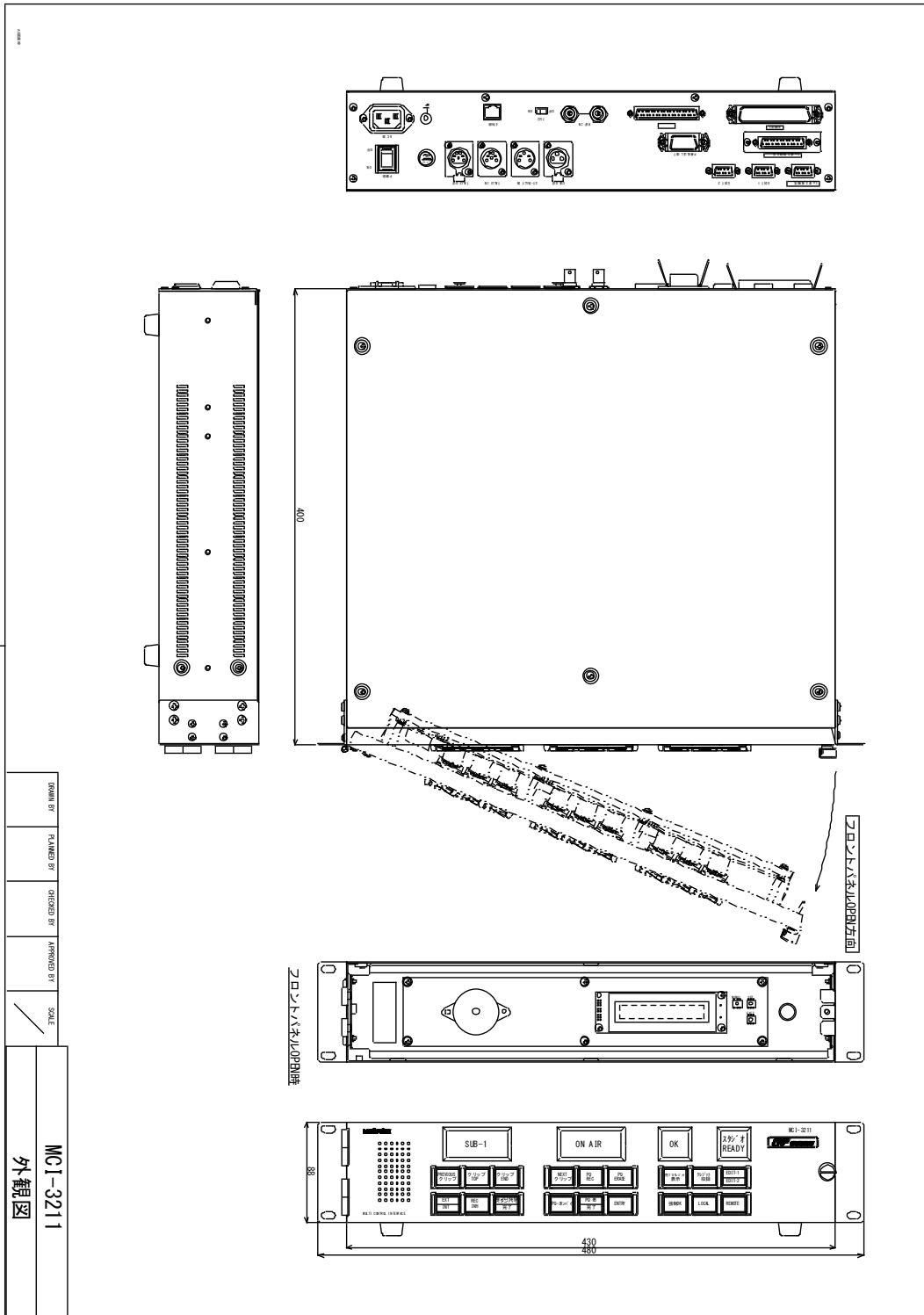
REMOTE	: フォトカプラ受け、メタ接点出力
to GFS PARALLEL	: フォトカプラ受け、オープンコレクタ出力
PARALLEL OUT	: メタ接点出力
to GFS REMOTE	: RS-422 シリアルポート
EDIT-1	: RS-422 シリアルポート
EDIT-2	: RS-422 シリアルポート
REF IN	: 3 値 SYNC 0.6V(75Ω)、525i/59.94 B.B 0.45V(75Ω)
CUE OUT	: +4dBm (未使用)
ST-TALLY IN	: フォトカプラ受け
TALLY IN	: フォトカプラ受け
TALLY OUT	: メタ接点出力

#### 13-3. 付属品

: AC 電源コード	× 1
: AC 電源コード 抜け止め金具 (装着済み)	× 1
: ラックイヤー (装着済み)	× 1 セット
: 取扱説明書	× 1
: 保証書	× 1
: 号機灯フィルム (「V-1」 ~ 「V-10」)	× 1
: GFS 接続用 9pin ケーブル (1.5m)	× 1
: GFS 接続用 25pin ケーブル (1.5m)	× 1
: REMOTE 接続用アンフェノール 50 ピンコネクタ/フード	× 1

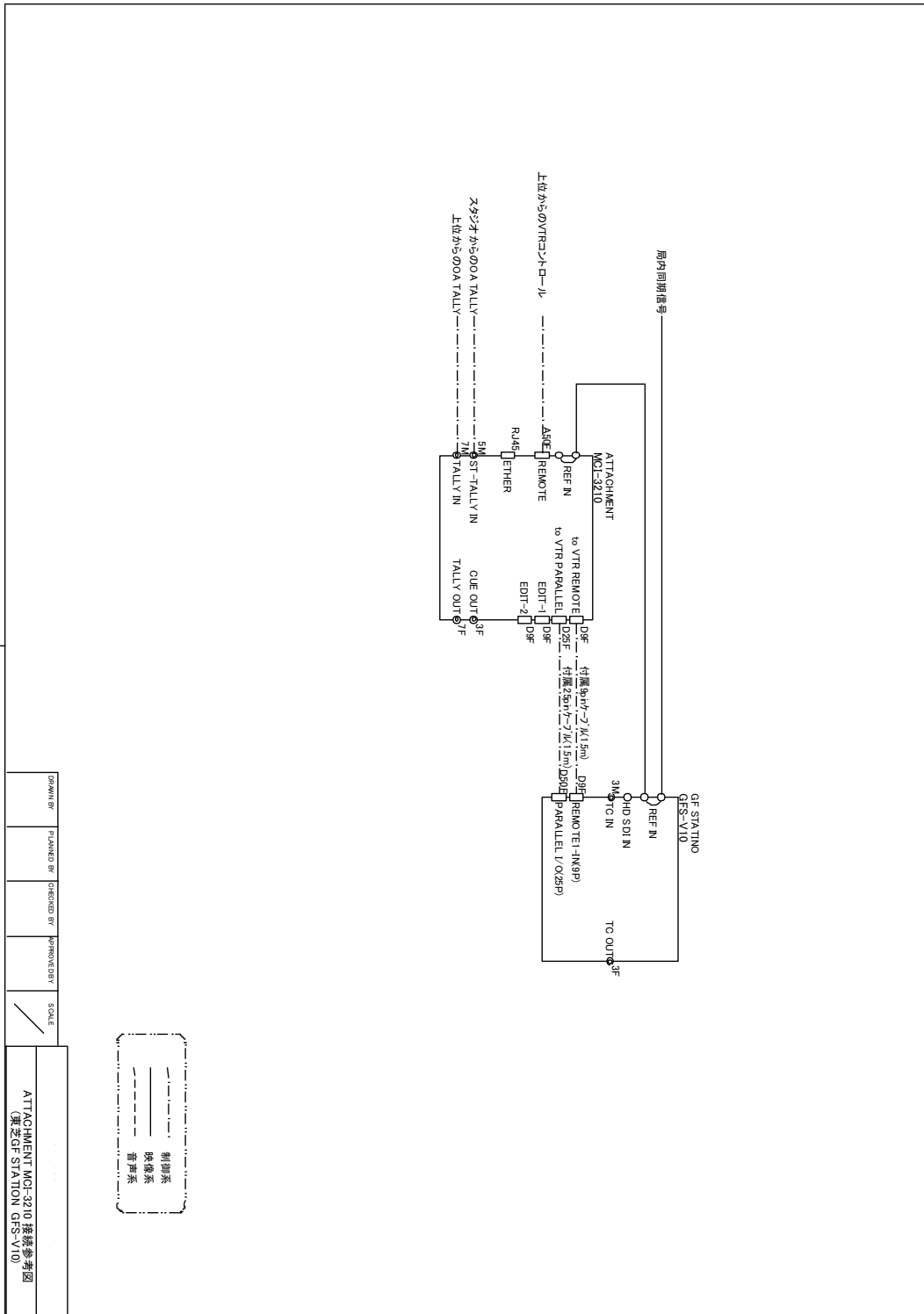
別売オプション : スライドレールキット

14. 外観図



16. 接続例

16-1. GF STATION (GFS-V10) との接続例





## 編集履歴

日付	担当	内容
2008		
08-21	hayami@musashi	第 1 版
09-03	hayami@musashi	第 2 版
09-24	hayami@musashi	第 3 版
11-11	hayami@musashi	第 4 版

### 第 2 版の詳細改訂内容

- ① 3 ページ 3-2. ON AIR 表示灯 (d) の条件に終了制御の立ち下がり (前後 3 秒) を追加しました。
- ② 30 ページ 6-2. REMOTE コネクタ (運行装置仕様) ステータス条件 (48 OUT) の OA 終了ステータス出力条件に終了制御の立ち下がり (前後 3 秒) を追加しました。

### 第 3 版の詳細改訂内容

- ① 13 ページ 3-16. ENTRY スイッチ (a) の LOCAL 時実行する時に同時押しする必要があるスイッチに誤記があったのを修正しました。

### 第 4 版の詳細改訂内容

- ① 16 ページ 3-20. 強制 OK スイッチに※補足説明文を追加しました。
- ② 30 ページ 6-2. REMOTE コネクタ (運行装置仕様) の 45OUT 「準備 OK」及び 36OUT 「チェック OK」の出力条件を変更しました。

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

---

## **武蔵株式会社**

**TEL 03-5982-4391    FAX 03-5982-4784**

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>

---